

令和5年度

スクール読書チャレンジ運動

実践事例集

佐賀県県民環境部まなび課

目次

| 各 賞 | | 受賞校 | ページ番号 |
|-------------|----------|--------------|-------|
| 入賞校 | 最優秀賞(1校) | 佐賀市立諸富南小学校 | 2-6 |
| | 優秀賞(2校) | 佐賀市立日新小学校 | 7-11 |
| | | 伊万里市立山代中学校 | 12-16 |
| | 敢闘賞(10校) | 佐賀市立若楠小学校 | 17-20 |
| | | 武雄市立朝日小学校 | 21-25 |
| | | 鹿島市立浜小学校 | 26-30 |
| | | 小城市立晴田小学校 | 31-36 |
| | | 小城市立三日月小学校 | 37-41 |
| | | 神崎市立千代田西部小学校 | 42-46 |
| | | 有田町立有田中部小学校 | 47-51 |
| | | 白石町立有明南小学校 | 52-56 |
| | | 嬉野市立嬉野中学校 | 57-59 |
| | | 多久市立東原彦舎東部校 | 60-64 |
| | その他 | 鳥栖市立若葉小学校 | 65-66 |
| 神崎市立仁比山小学校 | | 67-69 | |
| みやき町立北茂安中学校 | | 70-73 | |
| 白石町立福富中学校 | | 74-76 | |
| 太良町立大浦中学校 | | 77-79 | |

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | | | |
|-----|----------------------------------|-----|------|--------------|-------------------|
| 学校名 | 佐賀市立諸富南小学校 | 児童数 | 253人 | 担当者名 | 糸山かおり・井手望生・江里口千瑞子 |
| 住所 | 郵便番号840-2102 佐賀市諸富町大字為重920番地1 | | 電話番号 | 0952-47-2824 | |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|--|
| 宣言 | 目標 | 図書室へ行こう！本との出会いを楽しもう！ 見つけよう お気に入りの一冊を！ |
| | 取組期間 | 令和5年4月7日～令和5年11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|----|----------|--|------|------|------|---------|---------|-----|
| 評価 | 取組人数 | 298人 | 実施日数 | 160日 | 読書冊数 | 30,127冊 | 連携した団体数 | 7団体 |
| | 取組内容（概要） | <p>1 行きたいと思える心地よい図書室の環境づくり</p> <p>2 楽しんで読書ができるような取り組み</p> <p>3 様々な本と出会うような図書室主体のイベント実施</p> <p>4 学習センター・読書センターとしての機能の充実</p> | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>1 行きたいと思える心地よい図書室の環境づくり</p> <p>①本を分類番号順に配架し、本を探しやすく、整理しやすくした。</p> <p>②シリーズものや、人気の怖い本コーナーなどはPOPを増やし、面だしでの配架をふやした。</p> <p>③明るく楽しい雰囲気づくりにするために季節の折り紙などの飾り付けを増やすことを心がけた。</p> <p>④図書室の中だけでなく廊下や階段の壁面で季節の行事と本を結び付けて紹介した。</p> <p>⑤貸出冊数にこだわることなく、本を借りても借りなくても、学校の中の一つの居場所として、楽しく過ごせるようにした。</p> <p>⑥図書室のオリジナルキャラクターを募集し、選ばれたキャラクターは、図書室の中や図書日よりで使用する、親しまれる図書室づくりを心がけた。</p> <p>2 楽しんで読書ができるような取り組み</p> <p>①先生方のおすすめの本の紹介</p> <p>4～6月は新しく赴任された先生を中心に本を紹介してもらい、9～11月は校長先生や各クラスの担任の先生におすすめの本を紹介してもらった。</p> <p>②教科書に紹介されている本を中心としたおすすめの本50冊を読むことを推進し、10冊ごとにプレゼントを渡した。また50冊すべて読んだ子には、校長室で校長先生から賞状を渡してもらうことで特別感を出した。</p> <p>③月に一度お話しボランティアによる読み聞かせを行いその本を図書室で紹介した。</p> <p>④図書の授業時間に読み聞かせを行い、様々なジャンルの本を紹介した。</p> <p>⑤夏休み期間は3回来るとくじ引きができるようにして来室を促した。図書室で夏休</p> | | | | | | |

| | |
|------------------------|--|
| | <p>みの宿題をすすめる場所として開放した。また家読のすすめとして、親子の絆を深める一つ的手段として読書を紹介した。</p> <p>⑥関連機関との連携を行った。特に近くにある市立図書館分館の諸富館のイベントは積極的に紹介して参加するように呼び掛けた。</p> <p>3 様々な本と出会うような図書室主体のイベント実施</p> <p>①図書委員による児童集会の実施</p> <p>図書委員による劇で、図書室の決まりを楽しく学んでもらった。また、人気の本の〇×クイズを行い、図書室が楽しい場所だと思ってもらえるようにした。</p> <p>②読書郵便で全員が葉書を受け取れるようにした。異学年から本の紹介をしてもらい新たな本と出会うきっかけづくりにした。葉書を持っておすすめされた本を借りるとプラス1冊券をプレゼントして借りに行きたいと思ってもらえるようにした。</p> <p>③ハロウィンイベントの開催</p> <p>ハロウィンの日に『トリックオアトリート』のキーワードを言えば、くじ引きができるようにして、普段図書室に来ない子にも興味をもってもらえるようにした。</p> <p>④図書館まつりでスタンプラリー・読書ビンゴのイベントを行い、分類番号を覚えてもらうようにした。</p> <p>4 学習センター・読書センターとしての機能の充実</p> <p>①資源流通便を活用して他校からや市立図書館から本を集め、国語の授業での、同じ作者での読み広げの支援をした。</p> <p>②授業での調べ学習の本を他校から集め、タブレットと併用しながら、本には本の良さがあることを、調べ学習を通じて子どもたちに知ってもらった。</p> <p>③国語の授業で使った本に関連した掲示を図書室でおこなった。</p> <p>④子ども佐賀新聞に関するクイズを図書委員に出題してもらい、クイズに答えると、プラス券をプレゼントした。普段は新聞を読む機会がない子どもたちに、新聞を読むきっかけ作りを行った。</p> |
| <p>取り組んだ感想</p> | <p>諸富南小学校は休み時間に外遊びが推奨されていることもあり、図書室の利用者が少ないと感じた。読書を楽しんでもらうには、子どもたちの来室機会を増やし、実際に手に取ってもらい興味を持ってもらうことが重要だと感じた。</p> <p>そこで、様々な季節のイベントで来室を促し、お気に入りの本と出会うように工夫した。イベントで紹介した本や、廊下の壁面で紹介した本、読み聞かせをした本はすぐに興味をもち、貸出につながっていた。また、違う学年からの読書郵便が届くと「この本どこにありますか？」と嬉しそうに本を探す姿が多く見られ、子ども同士でお勧めし合うことで読書欲がかき立てられていた。また、先生方の授業のなかで、本を活用するサポートを行い、子ども達が教科書の内容をさらに深めることが出来ていたように思った。資源流通を活用し、本や資料を集めることの重要性を感じた。</p> |
| <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>好きな本との出会いはこれからの人生を豊かにすると思うので、子どもたちがたくさん本と出会うように、先生方と連携しながら支援をしていきたい。貸出冊数を重視するのではなく、子どもたちの多様性を尊重しながら、すべての子どもが読書を楽しめる図書室の在り方を模索していきたい。分類番号や図書室でのルールを学び、生涯にわたって図書館や読書を楽しめるような取り組みをしていきたい。</p> |



ようこそ図書室へ！！
 季節に応じた飾りを増やし、明るく楽しい雰囲気づくりを心がけました。
 また、折り紙の本と一緒に折り紙を飾ったり、季節の本と一緒に面出して置くことで、手に取りやすく、興味を持ちやすくしました。



廊下の壁面では毎月季節に関連した本を紹介しています。壁面で紹介した本は、図書室で面出し配架しました。10月はハロウィンにちなんで、せなけいこさんのおばけの本コーナーを作りました。
 また、イベントコーナーもつくり、学校のイベント時には、それに関連した本を紹介しています。



子どもたちから募集した、図書室のオリジナルキャラクターは図書室や図書だよりにたくさん登場します！



図書委員会主催の児童集会で、正しい本の借り方返し方を学んでもらいました。図書室の掲示に関連した〇×クイズをして、図書室に行きたいと思ってもらえるように工夫しました。クイズで紹介した本は、大人気ですぐに貸出されました。



教科書に出てくる本を中心とした厳選したおすすめの本50冊を読むと、校長室で校長先生から賞状をもらえます！



月に一度のおはなしボランティアによる読み聞かせは、子どもたちがとても楽しみにしています。



近くにある市立図書館の分館・諸富館で、夏休みに子どもたちが司書体験をさせてもらいました！折り紙の本や調べ学習の本など、学校だけで足りない資料は貸してもらっています。学校の図書室前にはいつも諸富館の新刊紹介やイベント紹介を掲示して、身近に公共の図書館があることをアピールしています。



読書郵便は全校生徒全員が受けとれるようにして、手紙を受けとる喜びを感じることができるようになりました。また、2年生の教科書で学ぶ『おてがみ』と時期が重なるようにしました。

その結果、友だちにおすすめされた本を借りたいと、沢山の子どもたちが葉書をもって図書室に来てくれました。普段はあまり読まない分野の本を借りる子どもが多かったです。届いた葉書を持って本を借りに来た子はプラス券をプレゼントしました。



図書館まつりでスタンプラリーや読書ビンゴを行い、分類を覚えてもらえるようにしました。スタンプラリーやビンゴに参加したらくじ引きができます。楽しみながら分類を覚えることができます。



斎藤隆介さんの作品の読み広げに、資源流通で他校や市立図書館、県立図書館から本を集めました。その資料をもとにして、国語の先生が作ってくださったワークシートからは、子どもの読書意欲が向上したことが伝わってきました！



はなさき山をよんで、人の優しいところを見つけて、花に書いて、貼っていきました！子どもたちと一緒に作り上げていく掲示に初挑戦しましたが、たくさんの花が咲いて明るく楽しい掲示になりました。これを書くために図書室に来る子もいました。



図書館まつりのイベントの一つとして、図書委員会さんが作る、こども佐賀新聞クイズがあります。普段はなかなか新聞を読む機会がない子どもたちも、楽しんで読んで、クイズに挑戦していました。佐賀のニュースにも詳しくなって、いいことがいっぱいでした！



おわりに

図書室は本を借りるだけの場所ではなく、学校の中の一つの居場所として、心を落ち着けたり、紙芝居を読み合いっこしたり、読書をしたり…しながら楽しく過ごせる場所だということを伝えていきたい。同時に人生を豊かにするような本との出会いを手助けしていきたい。

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|----------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 日新小学校 児童数 391 人 | 担当者名 | 石井 美根子 |
| 住所 | 郵便番号 840-0853 佐賀市長瀬町 9 番 15 号 | 電話番号 | 0952-24-4261 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|----------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 本となかよくなるう |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 10日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|----------|--|------|-------|------|----------|---------|------|
| | 取組人数 | 440 人 | 実施日数 | 234 日 | 読書冊数 | 32,351 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
| 評 価 | 取組内容（概要） | <p>図書委員、司書、司書補助、司書教諭を中心とした体制の下「楽しみながら本にふれあえる図書館作り」を目的に、図書館イベントの年間計画(資料1参照)に沿って多様な読書活動を行っている。</p> <p>①読書カードを使った貸出し記録(資料2参照) ②目標貸出数100冊達成者の掲示(資料3参照) ③読書ビンゴ&佐賀弁クイズ(資料4参照) ④年2回の図書館まつり ⑤体験図書委員(資料8参照) ⑥読み聞かせ体験(資料9参照) ⑦季節展示による読書推進と情報発信(資料10) ⑧ボランティアによる読み語り</p> | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>①カードを見れば自分が今までに何冊借りたのか一目でわかる。いくつか目標冊数を設けており、達成すれば「プラス1冊券」「フリーパス券」「しおり」などのプレゼントがもらえ、目標達成への意欲にも繋がっている。</p> <p>②記名した100冊達成者の星を学年ごとに掲示。100冊ごとに星の色を変えていくことで、さらなる読書意欲を高めることができる。(毎週金曜司書補助により更新)</p> <p>③ビンゴカードには「担任の先生が好きな本」「家族に読んであげたい本」(以下に詳細)「動物の本」「乗り物の本」など様々なテーマが書かれており、借りたらスタンプを押す。列が揃ったら「佐賀弁クイズ」に挑戦。日頃使い慣れていない佐賀弁に苦慮しながらも、先生方に質問する姿が見られた。(開催期間1ヶ月)</p> <p>「家族に読んであげたい本」(資料5参照) 自宅で児童が家族に読み聞かせをした後、家族から感想を書いてもらった。たくさん温かいコメントを書いていただき、家読推進にもつながった。</p> <p>④図書委員主体で様々な担当を分担して取り組ませる。事前におまつりのしおりを配布し、開催中は図書委員がイベント内容を毎日給食時間に放送。終了後もしばらく作品</p> | | | | | | |

| | | |
|--|------------------------|---|
| | | <p>を展示することで他の児童が図書館に足を運ぶきっかけにもなる。</p> <p>(以下開催内容 各1週間開催)</p> <p>6月…しおり作り・4コママンガ・イラストコンテスト・図書館クイズ・折り紙コンテスト・この名言が出てくる本はなに?・めいろ大会・辞書早引き大会</p> <p>11月…図書委員による出張読み聞かせ(以下に詳細)・スクリーンを使った怖い話(以下に詳細)・給食室とのコラボ給食2日間・読書ビンゴ&本の福袋・イラスト、マンガ、物語のコンテスト</p> <p>・「<u>図書委員による出張読み聞かせ</u>」(資料6参照)</p> <p>1日1学年6日間12クラス実施。事前に何度も自主的に練習する姿が見られた。人前での読み聞かせの経験は初めての児童ばかりで本番は緊張した様子だったが、やり遂げた達成感を味わえた児童もいた。</p> <p>・「<u>スクリーンを使った怖い話</u>」(資料7参照)</p> <p>暗くした体育館で、スクリーンと効果音を使った迫力あるダイナミックな雰囲気演出することができた。(約150名の児童が参加)</p> <p>⑤希望する児童に図書委員の仕事を体験してもらう。図書委員が受付や本の整理の仕方を指導。低学年の参加者が多く、楽しんで参加する姿が見られた。また、「5年生になったら図書委員になりたい」と言ってくれる児童がおり、図書委員活動の理解にも繋がっている。</p> <p>⑥参加希望の児童には10分程度で読める本を図書館で選んでもらい、学校や自宅で練習をするよう指導。初の試みだったが、練習の成果を発揮して本番はスムーズに読み聞かせができる児童が多かった。読書をする児童と分けるため図書室で行った。</p> <p>⑦・季節に合った図書コーナーを設置し、関心を引く工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内だけでなく図書館前の廊下や靴箱の上でもおすすめの本を紹介。 ・新しく入った本は1冊ずつ写真付きでポスターを作成し、紹介文を添えて掲示。 ・イベント時の写真をふんだんに掲載した図書館だより、職員や図書委員からのおすすめの本を顔写真付きで掲示するなど、目で見ても楽しめる工夫を行っている。 <p>⑧保護者や地域の方で構成されたボランティアによる読み語りを、年13回全クラス朝の時間に実施。読み手が足りない時は先生方が入る。</p> |
| | <p>取り組んだ感想</p> | <p>高学年になると図書の授業はほぼ無いため、長期延滞や紛失を防ぐためにもテスト終わりや時間があるときは、少しでも図書館に来てもらうよう担任に呼びかけている。昨年本校に配属された当初は、児童が図書館イベントに対し慣れない様子で参加者も少なかった。そのため今年はさらにイベントを増やし、放送やお便りやポスターなどで何度も呼びかけたところ参加者が増え「今月は何のイベントがありますか?」と聞きに来る児童もいる。おすすめの本紹介や読み聞かせなど先生方にも協力いただきながら、今後も児童が楽しんで本にふれあえる機会を増やしていきたい。</p> |
| | <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>以下は昨年12月から3月までに行ったイベント(資料11参照) 今年度も開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月 先生方によるクリスマスおはなし会 ・12月 図書委員による折り紙教室「サンタクロースを作ろう」 ・1月 お正月イベント「おみくじ&絵馬を書こう」 ・2月 図書館キャラクター&プラス1さつ券デザインコンテスト ・3月 校長より年間多読児童の表彰 |

資料1 図書館イベント年間計画

85年度 図書館イベント計画(案)

4月
・先生方におすすめの本を図書館で1冊選んでもらい、本を持った写真とコメントをつけたポストカードを1年間掲示。

5月
・1か月間「読書ビンゴ」→「佐賀弁クイズ」
・先生方による「春のおはなし会」

6月
・1週間「図書館まつり」中旬頃

7・8月
・夏休み図書館閉館(昨年14日間)
・夏休み後1週間(22日～28日)

9月
・児童による「読み聞かせ体験」

10月
・「1日体験図書委員」

11月
・5日間「図書館まつり」上旬頃

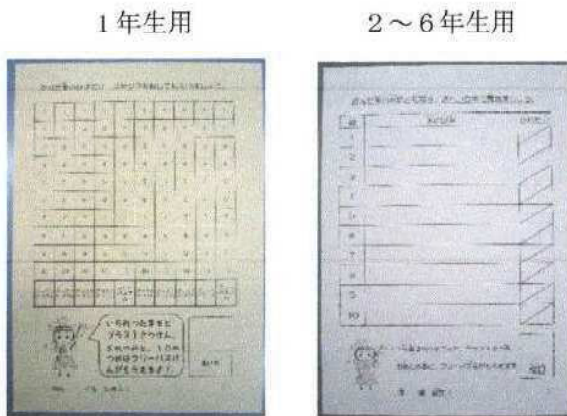
12月
・先生方による「クリスマスおはなし会」
・図書委員の「折り紙教室」

1月
・1日限定お正月イベント「おみくじ」「絵馬」「福笑い」

2月
・新ととしかんキャラクター&プラス1まつりデザインコンテスト

3月
・6年生へ卒業記念品プレゼント
(名前・4年間の貸出数・最初に借りた本の題名と表紙を印字したしおり)

資料2 読書カード



1年生は図書委員がスタンプ、2～6年生は自分で本の題名を書く。



プレゼントの詳細を入口に掲示

資料3 目標貸出数100冊達成者の掲示



階段踊り場にあるため目につきやすく、自分の名前が掲示されることで特別感を味わうことができる。

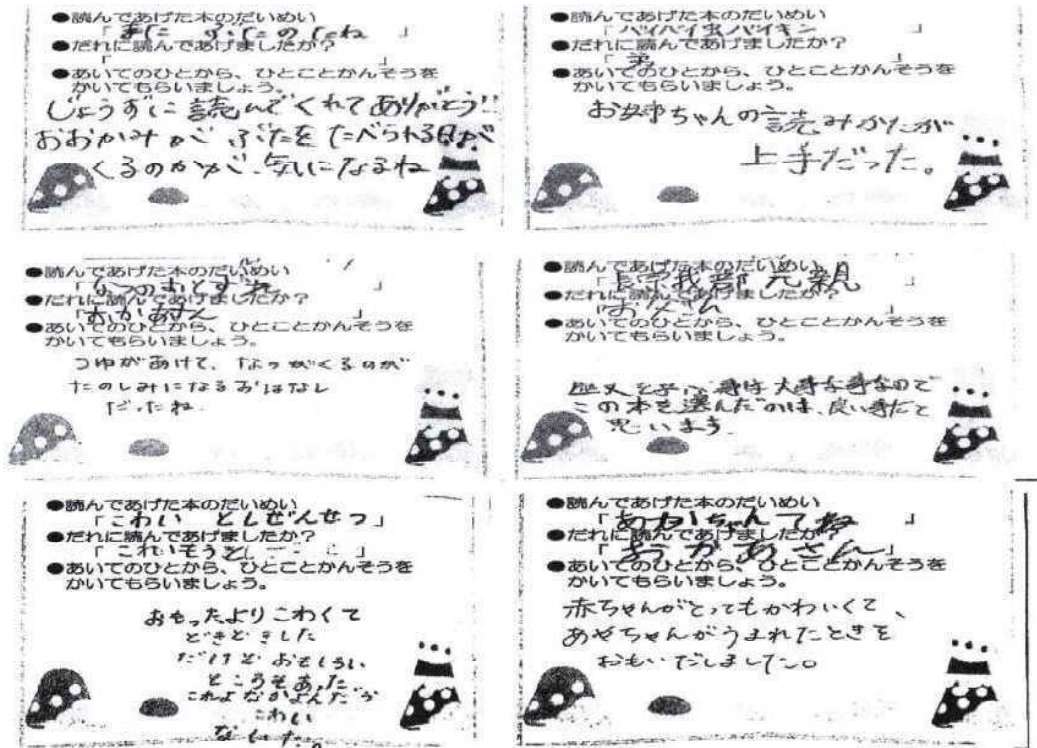
資料4 読書ビンゴ&佐賀弁クイズ



佐賀弁クイズ



資料5 家族に読んであげたい本



資料6 図書委員による出張読み聞かせ



資料7 スクリーンを使った怖い話



資料8 体験図書委員



資料9 読み聞かせ体験



本を持つての読み聞かせが難しい場合は司書が補助。



日を追うごとに聞きに来る児童が増えていった。

資料10 季節展示による読書推進と情報発信

図書委員からのおすすめの本や、季節の展示コーナー



掲示板を使った情報発信



新図書の紹介

図書館まつりイベント内容



先生方のおすすめの本紹介ポスター

季節に応じた飾りつけ



資料 11 昨年12月から3月までに行ったイベント



トナカイのコスプレで楽しませていただいた。

図書委員の折り紙教室



おみくじ&絵馬を書こう



新年度の図書館キャラクターに採用された児童の表彰



校長から多読児童の表彰



令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|--------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 伊万里市立山代中学校 児童数 101 人 | 担当者名 | 中尾 彩子 |
| 住所 | 郵便番号 849-4256 佐賀県伊万里市山代町久原 3080-1 | 電話番号 | 0955-28-2026 |

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|-----------------------|
| 宣言 | 目標 | 本にふれる、本とかかわる。 |
| | 取組期間 | 令和5年4月7日 ~ 令和5年11月30日 |

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|----|----------|---|------|-------|------|--------|---------|------|
| 評価 | 取組人数 | 113 人 | 実施日数 | 135 日 | 読書冊数 | 2302 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
| | 取組内容（概要） | <p>宣言目標の設定意図：本を読むに至るまでの前段階として「本に触れる」機会の提供、そして「本と関わる」ための手助けが必要だと考えたため。</p> <p>① ぶっくん（3週間に1回） 伊万里市民図書館のぶっくん（移動自動車図書館）に来校いただき、クラス単位または個人での貸出をしていただいている。</p> <p>② 読み語り（3週間に1回） 地域のボランティアにお越しいただき、朝の15分間に本を読んでいただいている。</p> <p>③ とよしつだより（毎月1回発行） 行事やイベントのおしらせ、本の紹介などをA4用紙1枚分にまとめ、配付・掲示。</p> <p>④ とよしつpost（随時） 意見や相談などを兼ねた目安箱。図書室入口への設置とFormsの2通りで受け付け。</p> <p>⑤ 手話の日（3のつく日） 3のつく日を手話の日を設定し（3月3日の耳の日を由来とする）、音声言語以外（筆談・手話・身振り手振り・空書き）の方法でコミュニケーションを取ってもらう。</p> <p>⑥ 点字うってみ展（随時）…簡易の点字器を設置し、点字を打つ体験をしてもらう。 ※⑤⑥については、来年度の「SAGA 2024 全障スポ」開催へ向けて、なにか繋がるものがあればいいなという思いで実施。</p> <p>⑦ マイクロライブラリー（随時） カームダウン室および保健室へ、それぞれ20冊程度の本棚を設置。</p> <p>⑧ zine展（随時） 書店に出回っていない、アーティストや作家などの個人が作った小冊子zineの展示。</p> <p>⑨ り本（りぼん）（随時） ブックカバーとリボン、タグをかけた覆面本を1つの本棚に集めて設置。</p> <p>⑩ 絵本パズル（随時）…絵本カバーでパズルを作成。</p> <p>⑪ myブックカバー（随時）…無地のブックカバーを配布。</p> | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>どの取組においても、「本を借りること」「本を読むこと」だけが目的となってしまうようにするためにはどうすればいいかを念頭に置いて進めていった。「本を通じて」「図書室を通じて」健やかな生き方や、自分自身の生きやすさと出会ってもらえるような取組となるよう心掛けた。</p> <p>① ぶっくん…当番の生徒にクラスの人数分を選書してもらった。生徒が読みたい本の</p> | | | | | | |

| | | |
|--|-----------------------------|--|
| | | <p>中で本校に蔵書のないものをお借りするために、毎回事前にリクエストを出した。</p> <p>② 読み語り…その後の読書へ繋がるよう、読んでいただく本を本校の蔵書からも選書してもらい、蔵書があることを生徒に伝えて頂いた。</p> <p>③ としよしつだより…本の紹介では必ず読了したものを自分の言葉で書くことを心掛けた。また、県内の美術館での展示や地域のイベントなどを本と関連付けながら紹介。毎号、あとがきには、図書室のことを心の保健室のように思ってもらえるよう、生徒と話したことや見聞きしたことに関連する内容をできるかぎり寄り添うような形で表現・作文をした。</p> <p>④ としよしつ post…些細なことでも気軽に伝えやすくできるようアナログ、デジタルの両方を用いた。</p> <p>⑤ 手話の日…筆談用具や手話の辞書を設置。“こんにちは”“借りる”“返す”等の最低限必要な会話に使う、手話の図を掲示。</p> <p>⑥ 点字うってみ展…あえて生徒の目に触れる場所で私自身が点字を打ちながら、興味を持って声をかけてくれた生徒たちと一緒にいった。</p> <p>⑦ マイクロライブラリー…各部屋の利用者の様子や具合に合わせた選書を心掛けた。</p> <p>⑧ zine 展…表現や趣味嗜好、生き方などの自由さが伝わるよう、多岐に渡るジャンルのものを満遍なく選書し、定期的に入れ替えを行った。</p> <p>⑨ り本（りぼん）…タグには「〇〇な気持ちの人」「〇〇な状況にいる人」など、できるだけパーソナルな情報を記載し、ターゲットを絞ることで、“あ、これ自分のことじゃないかな…？”と個人個人に寄り添ったような紹介になるよう心掛けた。</p> <p>⑩ 絵本パズル…絵本についてくるカバー（通常は捨てられている…？）を使用。絵本とパズルを並べて配置し、読書へと促した。</p> <p>⑪ my ブックカバー…自分だけのブックカバーを作るために、ペンや折り紙と一緒に置き、絵を描いたり折り紙を貼ったりできるようにした。普段は古紙回収に出されている、コピー用紙の包装紙を使用。</p> <p>※⑩⑪は「SDGs16:つくる責任 つかう責任」に関連づけた見せ方をした。</p> |
| | <p>取り組んだ感想</p> | <p>全体的に生徒たちが楽しみながら取り組んでくれた印象があった。特に、⑤手話の日を通じては、興味をもった数名の生徒たちが積極的に手話の勉強をしたり、地域の手話講座に参加したりなど、継続性のあるものを築くことができた（生徒の一人は市の話し方大会で手話について発表し最優秀賞を受賞）。</p> <p>本を通じて新しい世界を知ったり、視野が広がったりするように、図書室自体が本のような役割・効能をもたらすことができたのではないかと感じている。今後も、生徒たちが普段の生活だけでは出会うことのない文化や情報を知るチャンスを提供し、本の貸し借りだけに留まらない学校図書館でありたい。</p> |
| | <p>これまでの取組や 今後の取組予定</p> | <p>今後の取組予定として以下4点を検討および準備を行っている。</p> <p>* online としよしつだより…一人一台端末の有効活用として、紙媒体ではないとしよしつだよりを作成中。主に本の紹介を行う（紙面はスペースが限られているため）。活字が苦手な生徒への配慮として、音声の配信またはテキストデータの配布（読み上げ機能に対応）も検討。</p> <p>* マイクロライブラリー…従来は保健室とカームダウン室へマイクロライブラリーの設置を行ったが、さらに範囲を広げ、空いている靴箱、音楽室や美術室などの特別教室への設置を検討している。何らかの事由で図書室を利用できない生徒へのアプローチとなればよいと考えている。</p> <p>* zineをつくる会…自分の好きなこと・ものについてまとめ、冊子をつくるワークショップのようなものを実施したい。</p> <p>* 一人一冊チャレンジ…生徒と協力して、全校生徒に一人一冊を紹介していくプロジェクト。人数の少ない学校だからこそ実施できるのではないかと考えている。</p> |

①ぶっくん来校時の様子



②読み読りの様子



③としよしつだより

山代中学校 としよしつだより

2023. 7
学年：中学

◎夏休みの読書について◎
夏休み期間：7月15日（水）～8月10日（木）
読書期間：8月1日（水）～8月10日（木）
読書時間：1人1日1冊（2冊～3冊）1冊1冊

◎よい本ありますか◎
読書は、心を開き、知識を深め、視野を広げ、想像力を養い、自己表現の力を伸ばすことができます。また、読書は、心を豊かにし、情操を高め、人間性を育てることに大きく貢献しています。読書は、人生を豊かにする大切な習慣です。読書を通じて、自分自身を成長させ、社会に貢献できる人間を目指しましょう。

◎おたがき◎
読書は、心を豊かにし、情操を高め、人間性を育てることに大きく貢献しています。読書を通じて、自分自身を成長させ、社会に貢献できる人間を目指しましょう。

山代中学校 としよしつだより

2023. 8
学年：中学

◎夏休みに借りた本を返却してください◎
返却する場合はカウンターにて手続が必要となります。

◎おたがき◎
読書は、心を豊かにし、情操を高め、人間性を育てることに大きく貢献しています。読書を通じて、自分自身を成長させ、社会に貢献できる人間を目指しましょう。

山代中学校 としよしつだより

2023. 10
学年：中学

◎秋の読書週間◎
毎年10月27日～11月10日まで
山代中学校 読書推進委員会が
主催する読書週間です。
今年のテーマは「読書の力で未来を創る」です。
1日1冊を、1冊でも、1冊だけでも、ぜひ読んでください。
みんな、それぞれのペースで読んでください。

◎読書の紹介◎
読書は、心を豊かにし、情操を高め、人間性を育てることに大きく貢献しています。読書を通じて、自分自身を成長させ、社会に貢献できる人間を目指しましょう。

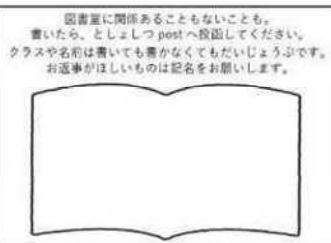
④ともしつ post

○ともしつpostについて○
 4月にもお知らせしましたが、再度ご案内です。よかったら、ご利用ください。
 図書室に関係あることもないことも。名前は書いても書かなくても。図書室入postへの
 投函、または右記QRコードよりお送りください。メールにもフォームを送っています。～
 お返事がきたり、こなかったりします。(回答やお返事が必要な場合は記名をお願いします)



↑ともしつだより紙面での紹介文

→
 ポ
 ス
 ト
 投
 函
 用
 紙



↑ Formsのページ



↑ 図書室入口設置のポスト

⑤手話の日



↑手話でのコミュニケーションの様子

⑥点字うってみ展

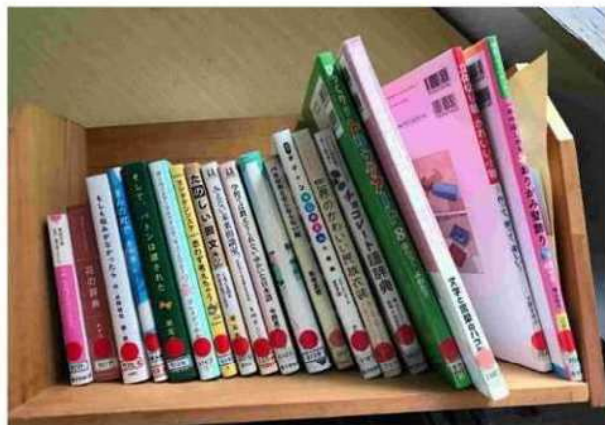


↑一覧を見ながら点字を打っている様子

⑦マイクロライブラリー



↑カームダウン室の選書



↑保健室の選書

⑧zine展



⑩絵本パズル



←上が絵本、下がパズル

⑨り本 (りほん)



↑タグ

⑪myブックカバー



令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|-------------------------------|------|----------------------|
| 学校名 | 佐賀市立若楠小学校 児童数 295人 | 担当者名 | 内田 美弥 阿部 春代 花房 文乃 |
| 住所 | 郵便番号 849-0926 佐賀市若宮3丁目2番1号 | 電話番号 | 0952-31-5051 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|---------------------------|
| 宣言 | 目標 | 全校に広めよう！本のおもしろさ |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 7日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| 評価 | 取組人数 | 297人 | 実施 日数 | 約160日 | 読書 冊数 | 30,710冊 | 連携した団体数 | 1団体 |
|------------|--|--|----------|-------|----------|---------|---------|-----|
| | 取組内容 (概要) | <p>① 本のおもしろさを味わう取り組み</p> <p>○「ゴジラの会」による読み聞かせ…読み聞かせグループ「ゴジラの会」による、全校への読み聞かせを朝の時間帯に行い本の楽しみを味わう。</p> <p>② 本とつながるきっかけを作る取り組み</p> <p>○すくすく読書の木…100冊単位で、個人の貸し出し冊数を「読書の実」で表し、本を借りたいという意欲を高める。また、それぞれの冊数達成者を放送で全校児童に知らせる。</p> <p>○ラッキーブック…いろいろな分類を知り、それらの本に親しむ。</p> <p>○ブックチャレンジ…スタンプカードを使って、各学年おすすめの本30冊に親しむ。</p> <p>○コラボ給食…本に出てくる料理を給食のメニューで出す。</p> <p>③ 図書館祭り(年2回)の取り組み</p> <p>○あじさい祭り(6月)…クイズラリー・宝くじ・サプライズブック・「ゴジラの会」読み聞かせ</p> <p>○もみじ祭り(11月)…どーこだ?クイズ・分類ビンゴ・宝くじ・サプライズブック・「ゴジラの会」読み聞かせ</p> | | | | | | |
| 工夫した こと | <p>① 本のおもしろさを味わう取り組み</p> <p>○「ゴジラの会」による読み聞かせ</p> <p>・「ゴジラの会」の方には毎年読書活動で協力していただいている。毎週水曜日の朝の時間、各クラスで(今週は1年生、次週は2年生…と学年ごと)本の読み聞かせをしていただいている。児童は、話に耳をすまし、様々なジャンルの本に触れ合うことで、本のおもしろさを味わうことができているようだ。</p> <p>② 本とつながるきっかけを作る取り組み</p> <p>○すくすく読書の木</p> <p>・貸し出し冊数に応じて、色付きの「みかんの実」を全校児童に貼らせていく。はじめは、50冊から、100冊、200冊…と100冊単位で、貼りつけるみかんの実の色を変えて(500冊は銀色、600冊は金色)一人一人の本の貸し出し冊数のおおよそが、掲示物によって一目で分かるようにしている。図書室の前に掲示し、自分がどのくらい読んだか、多読者はどのくらいまで達成しているか等が分かり、児童の本を借りる意欲を高められるようにした。</p> <p>・今年度は、多読者の名前を図書委員会の子も達が放送したり、100冊達成者には校長先生より表彰をしてもらったり等、より多くの本を借りたいという意欲付けを行った。</p> <p>○ラッキーブック</p> <p>・月ごとに、児童に注目してほしい分類を決めて、「今月のラッキーブックは〇類です。」といった案内</p> | | | | | | | |

| | | |
|------------------------|--|--|
| | | <p>版を掲示している。その分類の本を借りると、さらにもう一冊借りることができる。また、「ラッキーブックカード」にスタンプが5個貯まった児童には、貸し出し券をプレゼントしている。</p> <p>○ブックチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材に関係のある本や、教科書に紹介されている本、その学年の発達段階に適した本等を、図書館司書や図書館担当職員が選び、そのコーナーの本棚を設けて、読書推進を行った。 ・10冊、20冊読んだら貸し出し券をそれぞれ1枚渡し、30冊達成できた児童には、「ブックチャレンジ王」として認定し、ご褒美「賞状、ラミネートしおり券」を贈り、称賛している。 <p>○コラボ給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「4ひきのかぼちゃ」(→かぼちゃのサラダ)、「うどんのうーやん」(→きつねうどん)、「ジャッキーのトマトづくり」(→ミートボールのトマトシチュー)、「給食番長」(→ビーフカレー、ひじきサラダ)、「こまったさんのグラタン」(→ハムとほうれん草のグラタン)など今年は11の本の話の中に出てくる料理を給食で再現し、それを給食時間に本の画像と共に紹介した。 <p>③ 図書館祭り(年2回)の取り組み</p> <p>○あじさい祭り(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会が中心となって、事前・事後に放送やポスターで宣伝や結果紹介を行ったり、景品を手作りしたりして計画・実践を行った。 ・クイズラリー・・・123年、456年に分かれ、各日体育館でイベントを行った。ブースを4つに分け、それぞれのブースごとに本に関する3択クイズをし、スタンプラリー形式で児童が楽しみながら回ることができるようにした。 ・宝くじ・・・全校児童に一枚ずつくじを配布し、児童が図書館来館時に持参したくじを応募するようになっている。図書館に楽しみに来る児童を増やす目的で行っている。図書委員で応募くじからあたりを選出し、紹介する。 ・サプライズブック・・・低・中・高学年ごとに、図書委員や職員が「絵本・動物・料理・ひみつシリーズ」など多数のジャンルで本を集めた。それをジャンルごとに3冊ずつ、新聞紙で作った袋の中に梱包して、児童がわくわく感をもって本を手にとれるよう工夫した。 <p>○もみじ祭り(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どーこだ?クイズ・・・児童の図書館来館のきっかけになればと願い、今回は図書館内でクイズラリーを行った。低・中・高学年用に7問ずつ本に関するクイズや図書館に関するクイズを図書館内に貼り出した。実際にクイズに関する本を手に取り、本に触れてクイズに答えられるよう工夫した。 ・分類ビンゴ・・・たくさんの本、たくさんの種類の本に触れてほしいという思いで分類ビンゴを行った。特に、低学年の児童にとっては、はじめて聞くジャンルの本もあったようで、子ども達の興味が広がっていたらよいと感じる取り組みであった。 ・サプライズブック・・・あじさい祭りと同様、サプライズブックの取り組みを行った。今回は、もっと色々な種類の本に触れ合ってもらいたい、また、児童がもっとドキドキ感やわくわく感をもって本に触れてほしいと考え、くじ形式でのサプライズブックの取り組みを行った。 |
| <p>取り組んだ感想</p> | | <p>今年度「スクール読書チャレンジ」に参加してみて、本校の取り組みがどのような目的をもっていたのか、また、どのような効果があったのかなど再確認することができた。</p> <p>児童がどうしたら図書館に足を運ぶだろうか、どんな図書館祭りにしたら児童が喜んで祭りに訪れるだろうかと考え、取り組みを再考することができた。</p> |
| <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | | <p>これまでの取り組みは、上記に挙げたことがほとんどであり、そのよさを受け継いで大切にしてきた。今年度、それぞれの取り組みを見直し、新しい取り組みも行って来た。今後、児童が本の面白さ・楽しさをもっと味わうことができるように、常時活動や図書館祭りを通して、よりよい読書活動を進めていきたい。</p> |

○資料
(常時活動)

ラッキーブックのお知らせ



すくすく読書の木



ゴジラの会による朝の読み聞かせ



季節や行事に合わせた本コーナー



(図書館祭り)

～あじさい祭り～

読み聞かせ(ゴジラの会)



サプライズブックの取り組み





(クイズラリー)
 たくさん子ども達が参加をしていました。
 クイズに正解すると嬉しそうにする子供たちの笑顔が素敵でした。

～もみじ祭り～



(どーこだ?クイズ)
 図書館に関するクイズや本に関するクイズを真剣に考える子ども達です。



分類ビンゴの取り組み

～コラボ給食～



令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|------------------------------------|------|-----------------|
| 学校名 | 武雄市立朝日小学校 児童数 443 人 | 担当者名 | 古川 順子 早ノ瀬 千春 |
| 住 所 | 郵便番号 843-0001 武雄市朝日町大字甘久 4354-1 | 電話番号 | 0954-22-2834 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|----------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 本の世界を広げて 本を楽しもう |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 12日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| | 取組人数 | 450 人 | 実施日数 | 156 日 | 読書冊数 | 41260 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
|--------|----------|--|------|-------|------|---------|---------|------|
| 評 価 | 取組内容（概要） | <ul style="list-style-type: none"> ① 図書室環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 書架を分類番号順に並びかえる。 ・ 別置資料はシール等で案内。 ・ 季節の本や新刊の紹介。 ・ 図書室配置図の作成。 ② 図書委員会の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員会主導のとしよまつり。 ・ 図書委員の読み聞かせ。 ・ ポイントカードの導入。 ③ 読み聞かせボランティアとの連携（全学年） <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の時間に月1回、読み聞かせを行う。 ④ 図書だよりの発行（毎月1回・イベント時には臨時発行あり） ⑤ 図書の授業の取り組み（分類指導、自学学習での図鑑活用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の教科書に掲載された本や関連本をクラスへ貸出。 ・ 図書の授業での読み聞かせ。 ・ 分類番号を読んでもらうための学習ビンゴ。 ⑥ 夏休みの図書室の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み用のポイントカード導入 ⑦ 市立図書館との連携（団体貸し出しの利用） | | | | | | |
| | 工夫したこと | <ul style="list-style-type: none"> ① 図書室環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が本を探す時に、わかりやすいように分類番号をさらにわかりやすいように、シールを使って配架した。 ・ 別置資料は、ラックを用意し配架した。 ・ 目標冊数を達成した児童には、「いつでも3冊貸し出し券」を進呈し、達成する喜びを得られるようにした。 ・ 毎月、学年全体・学級全体・個人の貸し出し冊数一覧を学級担任に提示した。 | | | | | | |

| | | |
|--|------------------------|---|
| | | <p>また、貸出冊数が0冊の児童がいた場合には、貸出を促すように担任にもお願いした。</p> <p>② 図書委員会の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員で、意見を出し合い、みんなが楽しめるようなイベントを考え、6月と11月の2回としゃかんまつりを開催。 ・10月の児童集会では、図書委員が各クラスで読み聞かせを行った。 ・イベントを行う6月と11月に、ポイントカードを発行して図書室に来る楽しみを増やした。1冊の貸出につき1ポイントを押印し、20ポイントごとにくじを引けるお楽しみ付きにした。 <p>③ 読み聞かせボランティアとの連携（全学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の水曜日の朝の時間、地域ボランティアや保護者によるお話会。 <p>④ 図書だよりの発行（毎月1回・イベント時には臨時発行あり）</p> <p>⑤ 図書の授業の取り組み（分類指導、自学学習での図鑑活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書に掲載された関連の本を各学年に貸出を行ったり、図書室にコーナーを作ったりして学習の幅を広げた。 ・分類番号について、図書開きの時に説明をした。分かりやすいように書架を分類番号順に並べ、本を返却するときにラベルを見て戻しやすいようにシールを張るなどの工夫をした。 <p>⑥ 夏休みの図書室の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み用のポイントカードを作成し配布した。1日来室するごとに1ポイント押印し、3ポイントでくじを引けることができるようにし、夏休みも図書室に来る楽しみを作った。 <p>⑦ 市立図書館との連携（団体貸し出しの利用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の団体貸出を利用して、調べ学習の授業に必要な資料の提供、国語や理科・社会等の教科書で勉強する単元などの幅広い資料提供により、児童の興味・関心を広げることができた。 |
| | <p>取り組んだ感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本校の目指す児童像にもある、「やる気いっぱい朝日っ子」自分たちで考え行動し、図書委員が主体となって、朝の図書室の鍵開け、休み時間の図書の貸出、イベントの準備など教員がいなくても6年生を中心として活動ができた。 ・図書委員の読み聞かせやクイズや年2回の図書館まつり、季節展示や新刊などの蔵書の充実などで、図書室に積極的に足を運ばせる取組を行ったことで、「図書室って楽しい」と言って図書室へ足を運んでくれる児童が増えた。 ・返却と貸出を同時に行っていたが、児童数が多く休み時間に貸出ができないときもあり、返却ラックを図書室前に設置した。その後、スムーズに返却と貸出が行えるようになり、貸出冊数が伸びることにつながった。 ・タブレットを活用で、読書離れを心配していたが、本が好きという児童も多く、読書意欲も高い児童も多いと感じられた。 |
| | <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度取り組んだ活動を今後も継続し、本に親しむ子どもを育てていきたい。 ・お話会や、読み聞かせ等を継続することで、言葉の大切さ、語彙力をつけていきたい。 ・読書冊数を目指しつつも、読書の質の向上を図り幅広い読書、学年にふさわしい読書力が身につくように支援し声をかけていきたい。 |

図書室環境の整備

季節の本の展示

毎月、季節の本を展示している。ここに展示し紹介することで貸出につながり、読書の幅も広がっている。



子ども達が大好き「ぐりとぐら」が誕生 60 周年を迎えた 2023 年。コーナーを作って「ぐりとぐら」のシリーズを紹介しました。

新しい本・テーマの本の展示

新しい本や、テーマを決めて展示している。図書室の入り口に設置することで、子どもたちは、子どもたちは、いつもワクワクしながらこの本棚を楽しみにしている。



読書感想文のおすすめの本棚

夏休みや冬休み前には、コーナーの本棚を作っておくと、読書感想文の本が選びやすく、取り組む児童も増えている。

別置資料シール

絵本や各学年教科書掲載の本などには、シールを貼っている。図書室の配置図や本棚にも案内を掲示することで、子どもたちには、わかりやすくなり自分たちで間違えずに返却することができている。



図書委員の活動

としょかんまつり

図書委員が作った、しおりを多目的室のいろいろな場所にかくし、としょかんまつりに参加する児童に探してもらおう。探した児童は、とても喜び、このしおりを大事にして読書意欲にもつながっている。図書委員が作ったぬりえも大好評！



貸出風景

毎日長い行列になる貸出風景。朝日小学校のみんなが図書を借りに来てくれて嬉しいと話してくれる図書委員のみんな。



ある日の昼休み

1年生に大型絵本を読み聞かせをする図書委員の子ども。



全校への読み聞かせ

10月朝の時間に、図書委員による読み聞かせを行った。図書委員が各学年に応じた絵本を選んだ。休み時間を利用して練習して、緊張しながら本番に臨みました。



図書委員手作りのぬりえです。



その他

お話会

地域ボランティアや保護者の方の読み聞かせを月に1回水曜日の朝の時間に開催。毎月季節にあった絵本を読んでいただいている。飛び出す絵本や外国の絵本に子どもたちはくぎづけでした。



各教科との連携

国語の準備での取り組みを、図書室で本と一緒に展開。



夏休みの図書室

夏休みに本を借りに来たら1ポイントもらえ、3ポイントになったら、くじ引きができる。何が当たるか、ドキドキしながらくじを引く子供たち。今年は、1週間で、1日平均45人の子供たちが来室し、涼しい図書室で読書を楽しんだり、大型絵本の読み聞かせを子どもたち同士で楽しんでいた。



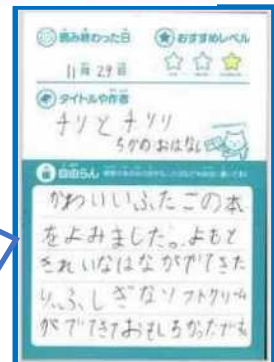
としょだより

毎月、発行している。季節の本の紹介や、各学年の多読賞、新しい本の紹介など、子どもたち向けのとしょだよりとして、読みやすさを意識して作成している。これを見て、肯定間や読書意欲にもつながっている。



読書ノートの活用

県より配布されている読書ノートの活用。国語の教科書に掲載されている本やお勧めの本を読んで、感想を書き残している。



令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|-----------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 鹿島市立浜小学校 児童数 124 人 | 担当者名 | 橋本 直子 |
| 住 所 | 郵便番号 849-1322 佐賀県鹿島市浜町 1239 番地 | 電話番号 | 0954-62-2444 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|----------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | とびこもう 本の世界 ～光の子がつなぐ読書の輪～ |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 12日 ～ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

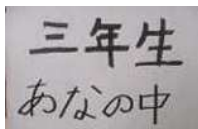
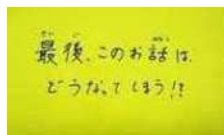
| | 取組人数 | 157 人 | 実施日数 | 232 日 | 読書冊数 | 22754 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
|--------|----------|--|------|----------|------|------------|---------|---------|
| 評 価 | 取組内容（概要） | <p>①「ひかりのご列車」・読書集会でつなぐ輪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童と保護者のおすすめの本を募集・掲示 ・読書集会で、おすすめの本の紹介と写真撮影 <p>②イベントでつなぐ輪 ・6月 あじさいまつり ・11月 秋のとしよかんまつり</p> <p>③「おすすめの本30さつ」・「みんなで読書（みんな読）」でつなぐ輪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに読んでほしい本30さつのリスト化 ・完読者を校長室で表彰 ・「おすすめの本30さつ」で、クラスごとに「みんなで読書」として感想交流 <p>④おすすめの本第2弾でつなぐ輪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を分けて、シリーズ・ジャンル読み、作者読み、他薦読み（友達・先生）で読書の幅が広がるような構成 <p>⑤お話会でつなぐ輪 ・お話があちゃんず ・市民図書館「おはなしとどけ隊」</p> <p>⑥読書マラソンでつなぐ輪 ・貸出冊数 ・ページ数（3年生以上・希望者）</p> <p>⑦展示でつなぐ輪 ・学校行事や講演、授業やイベントの関連本展示</p> | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>①「ひかりのご列車」・読書集会でつなぐ輪</p> <p>全校児童におすすめの本を紹介してもらい、図書室前に列車のようにつなげて掲示した。保護者からも募集して、一緒につなげて掲示した。表紙にキーワードを書き、開いたら紹介文が見られるようにし、興味をもてるように工夫した。また、今年度は初めて読書集会を開き、各学年の代表者のおすすめの本を紹介したり、全校児童でおすすめの本を持って写真撮影をしたりした。</p> <p>②イベントでつなぐ輪</p> <p>季節や行事に合わせて、図書委員を中心としてイベントを計画し開催している。全校で1日の貸出冊数をあじさいの花の数で表し、視覚化して掲示したり、借りた本の冊数でスタンプラリーをしたりして、図書室に来るきっかけになるようにした。</p> | | | | | | |

| | | |
|--|------------------------|---|
| | | <p>③「おすすめの本30さつ」・「みんなで読書（みんな読）」でつなぐ輪</p> <p>それぞれの学年で今読んでほしい30さつをリストにして取り組んでいる。完読者は校長室で表彰をして、写真を撮って掲示している。完読したら、名前を完読月ごとのキャラクター折り紙に貼り、見た目で分かりやすい掲示にしている。また、3年生以上は「おすすめの本30さつ」を使って、月に1回、朝の時間に「みんなで読書」として感想交流を行っている。今年度は、班ごとの交流が終わった後に、クラス全員の前で班の代表者が感想を発表し、さらに交流が深まるよう工夫した。</p> <p>④おすすめの本第2弾でつなぐ輪</p> <p>「おすすめの本30さつ」を完読した児童が取り組んでいる。第2弾では、読む本のジャンルを広げられるように『シリーズ・ジャンル読み・作者読み・他薦読み』で選書ができるようにし、普段触れないような本も読めるような構成にした。他薦読みでは、友達・先生のおすすめの本を読むことで、本を通して友達や先生と繋がれるようにした。本は「ひかりのご列車」からも選べるようにして、他学年の友達のおすすめの本も手に取れるようにした。</p> <p>⑤お話会でつなぐ輪</p> <p>月に1回、朝の時間にお話かあちゃんずによる読み語りを実施。また、今年度は市民図書館からのおはなしとどけ隊として、図書館祭りの期間中にお話会を開催してもらった。たくさんの児童が聞きに来ていた。</p> <p>⑥読書マラソンでつなぐ輪</p> <p>読書マラソンを2種類実施している。冊数の読書マラソンは「おすすめの本30さつ」のリスト裏に付けて、本を借りたときに図書委員からシールを貼ってもらい、自分の冊数を意識できるようにしている。ページ数の読書マラソンは、3年生以上の希望者で取り組んでいる。読んだページ数を図書委員に伝え、1週間に1回集計して、図書委員がシールを貼り、自分がどのくらい読んでいるかわかるようにしている。</p> <p>⑦展示でつなぐ輪</p> <p>学校での行事や講演、授業やイベントに合わせてコーナーを作っている。面だしでの展示を多くし、ページを開いて展示するなどの工夫をし、目に留まりやすいようにしている。</p> |
| | <p>取り組んだ感想</p> | <p>図書委員会を中心に、今まで取り組んできたこと、新しく始めたことを合わせて、色々な本に触れる機会を作ることを意識した取り組みになった。掲示した「ひかりのご列車」は、普段から児童が気になって開いてみたり読んだりしているので、興味を持ってもらい、読書の幅を広げるきっかけとなってよかったと感じた。</p> |
| | <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>「おすすめの本30さつ」の現時点での全校の完読率は、前年度の同時期と比べ10%ほど高くなった。毎年取り組んでいる「おすすめの本30さつ」や「みんなで読書」は、物語を読む力や自分の感想を伝える力をつける取組として続けてきているので、これからも力を伸ばすために続けていきたい。今後も図書委員会と協力して、光の子みんなで読書の輪を広げていく活動やイベントを計画していきたい。</p> |

①「ひかりのご列車」・読書集会でつなく輪



表紙のキーワード



「ひかりのご列車」コーナー



児童と保護者のおすすめの本を書いた、図書室前の「ひかりのご列車」は、現在157両編成（一人何両でもOK。）年度末まで引き続き募集している。

（読書集会）



おすすめの本を紹介中

おすすめの本と一緒に写真撮影！



②イベントでつなく輪



6月 あじさいまつり
毎日貸出冊数10冊で1つ花を貼っていく
R4 148個 → R5 153個
前年度より5個花が多くなった



11月 秋のとしょかんまつり
毎日、借りた冊数分スタンプをおしていく。
1週間で7冊以上（3回以上来館）借りることができたらくじびぎに参加できるようにした。

⑥読書マラソンでつなぐ輪



個人で持っている読書マラソン(借りた冊数)

読書マラソン
(読んだページ数)

シールを貼って、見やすく・わかりやすいように工夫している。借りた冊数や読んだページ数の意識づけになっている。



⑦展示でつなぐ輪



季節展示:秋



12月にある人権集会にむけた「人権を考える」コーナー



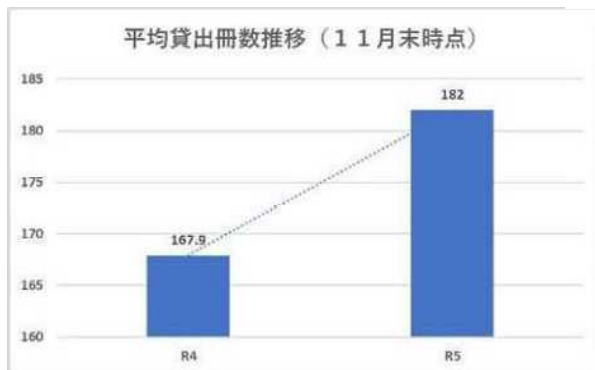
教科書に関連するシリーズ
(写真は5年生)

開いて展示・面だし展示で興味をもちやすいように工夫

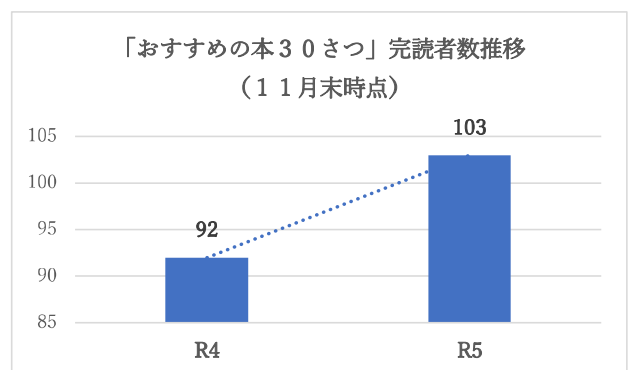


浜小の読書数

貸出平均・完読者数ともに前年度の同時期よりも増えていることがわかる。特に貸出平均は15さつほど増えている。図書室で本を借りて読むことが習慣付いてきているように思う。



平均貸出冊数推移(11月末時点)



「おすすめの本30さつ」完読者数推移(11月末時点)

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|----------------------------------|------|----------------|
| 学校名 | 小城市立晴田小学校 児童数 303人 | 担当者名 | 宮崎 和代 桃崎 敏子 |
| 住所 | 郵便番号 845-0002 佐賀県小城市小城町畑田2099 | 電話番号 | 0952-73-3226 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|----------------------------------|
| 宣言 | 目標 | 本の世界を楽しもう！ ～たくさんの本との出会いをもとめて～ |
| | 取組期間 | 令和5年5月8日 ～ 令和5年11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| 取組人数 | 303人 | 実施日数 | 169日 | 読書冊数 | 36444冊 | 連携した団体数 | 3団体 |
|------|----------|--|------|------|--------|---------|-----|
| 評価 | 取組内容（概要） | <p>昨年度、学年に応じた読書量を確保することを目標に、貸出冊数を低学年120冊・中学年100冊・高学年80冊と定めて取り組んだが、目標とする数を把握できていない児童も見受けられたため、今年度は全学年100冊借りることを目標とした。</p> <p>今年度は、より多くの本に接する機会を設けるため、一人当たりの貸出冊数を昨年度より1冊多い1回につき3冊までとした。3冊のうち、1冊は物語の本を借りるようにし、読書量を確保するとともに読書の質の向上に努めた。</p> <p>○読書の木の掲示…貸出冊数が100冊・200冊・300冊に達した児童の名前をみかんを模ったカードに記し、掲示を行うことで読書意欲の向上を図った。〔資料1〕</p> <p>○貸出冊数に応じたプラス券の配布…貸出冊数10冊毎に1冊貸出券を配布する。さらに、100冊毎に、プラス券綴りを配布し、読書意欲の向上を図った。〔資料2〕</p> <p>○学年の本棚にある本を読もう！…全校児童に『〇年生の本だなゲットだぜ！』カードを配布し、1冊借りる毎に1つスタンプを押し、カードいっぱいスタンプが押されるとプラス貸出券と引き換えるイベントを、11月の1か月間行い、学年に応じた良書を手にとろうとする意欲の向上を図った〔資料3〕。</p> <p>○図書館まつり（年2回各1週間）…図書委員会主催で、しおりコンクール、読書ビンゴ、図書館くじ、図書館クイズラリー、図書委員体験などに取り組んだ。〔資料4〕</p> <p>○職員のおすすめの本の紹介文を掲示したり、掲示してある職員おすすめの本の紹介文を手にとって閲覧できるようにするため、おすすめの本カードを3部図書館に設置したりすることにより、読書意欲の向上を図った。〔資料5〕</p> <p>○季節や行事、全校集会の話題にそった本の紹介…コーナーを設け、季節や行事に関連した本や平和学習に関連した内容の本を紹介した。〔資料6〕</p> <p>○読み聞かせ（年7回朝の時間）を行う…地域ボランティアと育友会、幼稚園園長、職員による読み聞かせを行った。〔資料7〕</p> <p>○読書タイムの設定…朝の時間に読書タイム（10分程度）を設けた。〔資料8〕</p> <p>○小城市民図書館からの団体貸出（今年度は年1回）を行った。毎月、移動図書館本</p> | | | | | |

| | | |
|--------|--|---|
| | | <p>丸くんを活用した。</p> <p>○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催…11月10日に小学1年生を対象に、絵本の読み聞かせ会を開催した。〔資料9〕</p> <p>○毎月発行する図書館便り・うちどくノートの活用・夏休みや冬休みや読書週間で、『うちどく』の勧めなどの家族読書への取組を推奨した。</p> <p>○学校便りや学級通信、全校集会での読書活動の啓発を行った。</p> |
| 工夫したこと | | <p>○『〇年生の本だなゲットだぜ!』カード</p> <p>11月の1か月間、全校児童に『〇年生の本だなゲットだぜ!』カードを配布した。カードには九つの枠があり、『〇年生の本だな』の本を1冊借りる毎の一つスタンプを押し、9つスタンプがたまったら、プラス貸出券と引き換えた。1枚目が終わったら2枚目に進み、2枚目がいっぱいになったら1枚目の時よりもプラスされる数の多いプラス券を配布した。特に低学年では、『〇年生の本だな』の本を借りる児童の数が増え、〇年生の本棚に並んだ本が全て貸し出されていることもあった。</p> <p>○図書館まつり</p> <p>図書館まつりに、たくさんの児童に来館してもらうために、図書委員がいろいろなイベントを企画して運営した。図書館に関するクイズを図書館内と図書館近辺に掲示し、図書館クイズに答えていくクイズラリー、図書館祭りの期間中に2回本を借りた児童がひける図書館くじなどの新企画を立ち上げた。クイズラリーの問題として取り上げられていたため、教職員のおすすめの本の掲示を読む姿が数多く見られた。また、給食時間に本に関するクイズを放送したり、図書委員体験会を開催したり、図書に関するしおりコンクールを行って優秀作品を掲示したりするなどして、来館者数を増やそうと試みた。また、全種類の分類番号の本を読むことを目標にした読書ビンゴを企画し、分類に関しても興味を持てるようにするなど、多彩な催しを行った。図書委員会の児童や担任の呼び掛けで、多数の児童が参加することができ、より多くの本と接する機会となった。</p> <p>○季節や行事、全校集会の話題にそったおすすめの本の紹介</p> <p>カウンターの前に「おすすめの本」を紹介するコーナーや、7月に「戦争・平和」コーナーなどを設けた。また、秋の図書館祭り期間の前後、図書委員が企画して四季を感じることでできる本を集め、特設コーナーに「きせつの本コーナー」を作って展示した。</p> <p>○読み聞かせ</p> <p>高学年の児童も、集中して聞き、お話の世界に浸っている姿が見られた。読んでいただいた本を図書室で借りて読む児童の姿も見られた。</p> <p>○読書タイムの設定</p> <p>朝の10分間を読書タイムとして設定している。児童は自分で選んだ本を静かに読んでいる。学力向上の一環として、読書をすることによって文字に慣れ、読む力を向上させるねらいももたせている。</p> <p>○小城市民図書館からの団体貸出・移動図書館本丸くん</p> <p>小城市民図書館より、2学期に1度団体貸出を受け、主に各学年の調べ学習の本の選書に重点を置いた。移動図書館本丸くんは、月に1度本校に来て児童への本の貸出をしてもらっている。5月には、1年生に向けてオリエンテーションを行い、本の魅力を伝えていただいた。</p> |

| | |
|------------------------|--|
| | <p>○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催</p> <p>11月10日に小学1年生の児童を対象に、絵本の読み聞かせを行い、本の世界を楽しんだ。大型絵本をくいいるように見つめ、顔を輝かせてお話に聞き入る姿が見られた。本の読み聞かせだけでなく、おすすめの本を紹介していただいたことで、本への関心を高めることにつながった。</p> <p>○毎月発行している図書便り・読書カレンダーや親子読書の啓発</p> <p>新刊紹介、多読者紹介、調べ学習のステップなどの記事を載せた。調べ学習のステップでは、自分で本を探すときのコツや、索引の使い方、引用や出典等の著作権に関する説明をした。</p> <p>夏休みに、「うちどくノート」、「読書カレンダー」を配布し、『うちどく』を推奨した。家族読書をしての感想を家庭から寄せていただくことにより、家庭との連携を図った。</p> |
| <p>取り組んだ感想</p> | <p>1年間で100冊読むことを目標としたため、目標数を明確にとらえることができた。11月末時点で貸出冊数が100冊を超えた児童は、全校児童のうち52%であった。図書館祭りでは、図書館に行きたくくなるような多様なイベントを図書委員が企画し、実施することができた。図書館まつりの期間中は、連日多くの児童が来館した。貸出手続きの度に、借りている本について声を掛け続け、3冊借りる本のうち、1冊は物語借りるということが児童に定着している。『〇年生の本だなゲットだぜ!』のイベント期間中、学年の本棚の本を手にする児童が増えた。しかし、借りた児童の全てが、じっくり本の中身と向き合えているとはいえない。まずは、手に取ることから初め、図書館を身近に感じ、「図書館に行きたい。」「本を読みたい。」と思えるような図書館にしていけるように、図書委員会の児童とともに活動していきたい。</p> |
| <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>今後も、図書館まつりやおすすめの本コーナーの充実など、児童が図書館に行きたいと思うような工夫をしていきたい。職員のおすすめの本、季節の行事に関する本などを紹介したり、読み聞かせの時間を計画的に行ったりするなど、全校での取り組みを行い、読書に関する関心を高め、本を身近に感じることができるよう、今後も全校で連携して、図書館の活動を充実させていきたい。</p> |

〈活動内容〉

〔資料1〕晴田っ子 読書の木・フラス券綴り

100冊・200冊・300冊の貸出冊数を達成した児童は、みかんを模したカードに名前を書いて、読書の木に掲示した。



〔資料2〕フラス券綴り

貸出冊数10冊毎に配布した1冊貸出券。100冊毎に配布した貸出券綴り。



100冊毎の貸出券綴り

1冊貸出券

〔資料3〕読書の宝箱コーナー・本の宝箱カード



本の宝箱コーナー



『〇年生の本だなゲットだぜ！』カード

通年を通して本の宝箱コーナーを設けた。11月の1か月間は、学年の本棚にある本を読むことを目指し、全学年に『〇年生の本だなゲットだぜ！』カードを配布し、学年の本棚の本を1冊借りる毎にスタンプを押し、スタンプの数に応じてプラス貸出券を配布した。期間中は、低学年を中心に、学年の本棚の本を借りる児童が数多く見られた。

〔資料4〕図書館祭り



クイズラリー



図書館くじをひいている様子

図書館祭りの期間を6月と11月の各1週間設定した。図書館とその付近に掲示された図書館に関する5問のクイズに答えるクイズラリー、図書館祭り中に本を2日以上借りるとひくことのできる図書館くじなど、児童が企画したイベントに楽しみながら参加する児童の姿が数多く見られた。

〔資料5〕教職員のおすすめの本紹介



図書館の南入口に掲示するとともに、図書館内の3か所に「先生のおすすめの本カード」を設置し、より近くでじっくり見ることができるようにした。多くの児童が掲示物の前で立ち止まり、「先生のおすすめポイント」を読んだり、「〇〇先生のおすすめの本」カードを手にとって、じっくり読んだりする姿が見られた。秋の図書館祭りで行ったクイズラリーにも「先生のおすすめの本」に関するクイズが出される他の企画とのコラボレーションも見られた。

〔資料6〕季節や行事に沿ったおすすめの本の紹介



秋の図書館祭りでは、図書委員が季節の本コーナーの設置を企画し、特設コーナーを設けた。

特設コーナーを設けることにより、児童が手に取りやすくなった。

〔資料7〕読み聞かせ



地域のボランティアの方々に来ていただき、今年度は7回読み聞かせ会を行った。毎回、さまざまな分野の本を読んでいただいている。児童は、読み手の方に体を向け、お話に熱心に耳を傾けていた。

〔資料8〕朝の読書タイムの設定



〔資料9〕小城市民図書館による読み聞かせ



11月に、1年生の児童を対象に小城市民図書館の読み聞かせ会を行った。

大型絵本の読み聞かせでは、近くに座る児童に笑顔で同意を求めながらお話の世界を楽しんだり、身を乗り出して本に見入ったりしている姿が見られた。また、おすすめの本を紹介していただくことにより、本への興味関心を高める機会となった。

貸出総数 5月8日～11月30日まで (169日)

★全校貸出冊数・・・36,444冊

★一人当たりの貸出冊数・・・120冊

低学年・中学年では図書の時間に、図書室でゆっくり本を読む時間を確保することができ、図書室への来館数が増加した。朝読書、読み聞かせ、図書館まつりなど、本に親しむ機会を作ることにより、図書館に行く楽しさ、読書の素晴らしさを感じている。

各学年における目標達成状況

| 学年 | 達成目標(冊) | 1人当たりの達成数(冊) | 達成率(%) |
|----|---------|--------------|--------|
| 1年 | 100 | 127 | 127 |
| 2年 | 100 | 125 | 125 |
| 3年 | 100 | 127 | 127 |
| 4年 | 100 | 149 | 149 |
| 5年 | 100 | 91 | 91 |
| 6年 | 100 | 100 | 100 |

11月30日現在

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|-------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 三日月小学校 児童数 710人 | 担当者名 | 小池 麻友 |
| 住所 | 郵便番号 845-0021 佐賀県小城市三日月町長神田 1680 | 電話番号 | 0952-73-2950 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|--------------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 読書！笑顔！三日月サイコー！ ～本でつなぐ三日月の絆～ |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 7日 ～ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|----------|--|------|----------|----------|-------------|-------------|---------|
| 評 価 | 取組人数 | 710 人 | 実施日数 | 134 日 | 読書 冊数 | 61,348 冊 | 連携した 団体数 | 2 団体 |
| | 取組内容（概要） | <p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなぐ三日月の絆～」</p> <p>2. 継続している取組</p> | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>三日月小学校は学校目標を「元気！笑顔！三日月サイコー！」とし、大規模校の良さを生かしながら、ともに誇れる学校づくりに励んでいる。読書チャレンジでも、読書で笑顔の輪を広げ、本で友だちや地域と繋がることで三日月サイコーを目指した。</p> <p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなぐ三日月の絆～」</p> <p>（1）図書委員と全校児童とのつながり</p> <p>6年生で構成される図書委員は下級生の憧れである。そんな図書委員と児童のつながりを深めることで、図書館をより身近な場所へとできるよう様々な取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員のおすすめの本を、顔写真をつけて図書室に掲示することで、図書室や図書委員への関心を高めた。【①】 ・ 〈本クイズ〉秋の図書館祭りでは、図書委員が選んだ本から出題される本クイズを行った。低・中・高に分かれて、1日だけのイベントだったが、クイズをきっかけに、読書の幅の広がりにつながった【②】 ・ 〈しおりコンクール〉全校児童に、オリジナルしおりを募集し、図書委員が審査を行った。募集して集まったしおりは全てラミネートをかけてプレゼントしたことで、コンクール後も児童がオリジナルしおりを使っている姿が見られた。【③】 <p>（2）児童同士のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈貼り絵チャレンジ〉あじさい祭りでは、各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスのみんなで協力して、絵の完成を目指した。完成した貼り絵は全学年、図書室に掲示し、学年ごとに投票で順位を決定した。【④】 ・ 〈読書運動会〉学年対抗で一番貸出し冊数の多い学年を競い合う読書運動会を行 | | | | | | |

| | | |
|--|------------------------|--|
| | | <p>った。1位から3位に入賞した学年には賞状を作成し、表彰を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈本ランキング〉全校児童に好きな本を1冊選んでもらい、図書委員が集計を行った。低学年と高学年に分かれ、それぞれに人気投票の上位にランクインした本をまとめた「すきな本ベスト5」を全校児童に披露をした。【③】 ・ 〈他学年との交流〉国語科の学習とリンクさせ、4年生が1年生におすすめの本を紹介した。紹介した本は、1年生の教室に展示したことで、気軽に本を手にとることができた。【④】 ・ 〈教科間の連携〉1年生国語科「いろいろなふね」や3年生総合的な学習の時間「みんなにやさしい町づくり」などの調べ学習では、各学年の廊下に学習の課題に沿った本コーナーを設置した。【⑤】 <p>(3) 教職員とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈先生おすすめの本〉新しく三日月小学校に赴任した教職員にアンケート依頼し、ブックレビューを作成して、図書館に展示した。【①】 <p>2. 継続している取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年を通して、一人100冊運動を行っている。100冊以上本を借りると、貸出しカードがゴールドへと変わり、一人一人にプラス貸出券もプレゼントされる。【①】 ・ 自動車図書館「本丸くん」(小城市民図書館三日月館)による貸出<月1回>【②】 ・ 「ムーンブック」(地域の方々の読み聞かせボランティア)による朝の読み聞かせ。 <各学期に各クラス1回ずつ。今年度は年間12回>【③】 ・ 秋の図書館祭りのイベントの1つとして、低・中・高に分かれ、小城市立図書館による読み聞かせを行った。【③】 ・ 佐賀県庁まなび課から配布された『読書ノート(ライブラリー・スタート・パスポート)』の活用。夏休み前に全校児童へ配布し、夏休みの読書を記録。【⑤】 |
| | <p>取り組んだ感想</p> | <p>図書委員の仕事は多岐にわたり、休み時間の活動も多い。日々の役割をこなしながら、どうしたらみんなの足が図書室に向かうかを懸命に考え、年に二回の図書館祭りのイベント企画を行った。イベントが終わると、「もう少し計画的に準備を進めなければいけなかった。」「自分が担当していない曜日にも、手伝いのため図書室に向かった。」という感想があがった。反省を生かして、次の活動をよりよくしようとする図書委員の姿に、成長を感じた。図書委員の懸命な活躍もあって、図書館祭りがある6月、11月は特に本の貸出し冊数が増加していた。昨年度に比べ、4月から11月までの貸出し冊数は減少していたが、その要因の一つとして、昨年度と校時が変わり、中休みが20分から15分に、昼休みが45分から30分に短縮されたことが考えられる。</p> |
| | <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>今年度は、貸出し冊数こそ増加しなかったものの、「スクール読書チャレンジ運動」をきっかけに、子どもたちの意識が変わってきていることを実感している。これまでの取組の反省や気づきを今後を生かしていきながら、「人と人とのつながりを大切にした読書活動」を今後も推奨していきたい。</p> |

1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなく三日月の絆～」

(1) 図書委員と全校児童のつながり

① 図書委員おすすめの本

図書委員のおすすめの本を、顔写真をつけて図書室に掲示することで、図書室や図書委員への関心を高めた。掲示物を見て、「この6年生がおすすめしている本を借りよう!」「この本わたしも好き!」などと話をする児童の姿が見られた。



② 本クイズ

秋の図書館祭りでは、図書委員が選んだ本から出題される本クイズを行った。低・中・高に分かれて、1日だけのイベントだったが、クイズをきっかけに、普段手に取らない本を読んだり、「今度借りてみよう!」という声も上がったりするなど、読書の幅の広がりにつながった。

正解したチームには、プラス1冊貸出券のプレゼント!



③ しおりコンクール

全校児童に、オリジナルしおりを募集し、図書委員が審査を行った。「かっこいいで賞」「かわいいで賞」などさまざまな視点からしおりの良いところを見つけ、できるだけ多くの児童に賞を与えられるよう工夫して表彰した。また、募集して集まったしおりは全てラミネートをかけてプレゼントしたことで、コンクール後も児童がオリジナルしおりを使っている姿が見られた。



(2) 児童同士のつながり

① 貼り絵チャレンジ

あじさい祭りでは、各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスのみinnで協力して、絵の完成を目指した。「貼り絵を完成させたい!」という気持ちから、積極的に図書館に足を運ぶ児童が増加した。完成した貼り絵は全学年、図書室に掲示し、学年ごとに投票で順位を決定した。



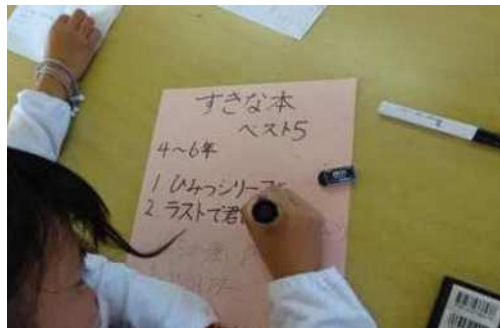
1冊につき、1枚の色紙がもらえます。

② 読書運動会

赤・黄・白・青の4つの団に分かれて競い合った運動会。秋の図書館祭りでは、色対抗ではなく、学年対抗で一番貸出し冊数の多い学年を競い合う読書運動会を行った。1位から3位に入賞した学年には賞状を作成し、表彰を行った。

③ 本ランキング

秋の図書館祭りでは、本ランキングを作成した。全校児童に好きな本を1冊選んでもらい、図書委員が集計を行った。低学年と高学年に分かれ、それぞれに人気投票の上位にランクインした本をまとめた「すきな本ベスト5」を児童玄関前に掲示し、全児童に披露をした。



④ 学年間の交流

国語科の学習とリンクさせ、4年生が1年生におすすめの本を紹介した。4年生は1年生がどんな本が好きなのか考えて本選びを行い、1年生にも分かる言葉で、分かりやすく本の面白さや見所などを紹介することができた。本の紹介を受けて1年生からは「読んでみたくなった。」「面白かった。」などの感想が挙げられた。また、紹介した本は、1年生の教室に展示したことで、気軽に本を手にとることができた。



⑤ 教科間の連携

1年生国語科「いろいろならね」や3年生総合的な学習の時間「みんなにやさしい町づくり」などの調べ学習では、各学年の廊下に学習の課題に沿った本コーナーを設置した。



(3) 教職員とのつながり

⑥ 先生おすすめの本紹介

新しい担任やクラスメイトの出会いの季節である4月には、図書委員が新しく三日月小学校にいられた教職員にアンケート依頼し、ブックレビューを作成して、図書館に展示した。図書館を訪れた児童は、「〇〇先生の好きな本が載っている!」「この本知っている!」と話を弾ませていた。



(4) 継続している取組

① 一人100冊運動

100冊以上本を借りると、貸出しカードがゴールドへと変わる。子どもたちは、カードをゴールドに変えることをモチベーションに、本を積極的に借りている。100冊達成すると、一人一人にプラス貸出券もプレゼントされる。



② 本丸くんの日

1ヶ月ごとに巡回してくる自動車図書館「本丸くん」の日を、子どもたちは心待ちにしている。



③ 「ムーンブック」による読み聞かせ
地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを行っている。



④ 小城市立図書館による読み聞かせ

秋の図書館祭りのイベントの1つとして、低・中・高に分かれ、小城市立図書館による読み聞かせを行った。



⑤ 「うちどくノート」で親子読書
小城市立図書館から配布される「うちどくノート」の活用。



令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 神崎市立千代田西部小学校 児童数 210人 | 担当者名 | 野口 美晴 |
| 住所 | 郵便番号 842-0055 神崎市千代田町餘江 1496 番地 | 電話番号 | 0952-44-2338 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|-------------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | ぱらり...さらり...そしてじっくり本に親しむ西部っ子! |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 10日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|----------|---|------|-------|------|----------------------------------|---------|------|
| 評 価 | 取組人数 | 448 人 | 実施日数 | 235 日 | 読書冊数 | (全体) 44845 (児童) 44121 冊 | 連携した団体数 | 1 団体 |
| | 取組内容(概要) | <p>本校では、今年度は読書習慣がついてきたことから、読書ボランティアや図書館まつりなどの活動を継続していくと共に質の向上を目指し取組を深化させることを意識した。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティアによる読み聞かせ ・毎朝8:05~8:15の朝読に文字の本の推奨 ・図書委員会による図書館まつりの充実 ・多読とおすすめ30選の読破を推奨 | | | | | | |
| | 工夫したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度からは読書の質の向上を目指し、目標冊数を120冊から100冊に減らし、目標冊数達成とおすすめの本30選を読み終え、その中からベスト3の感想まで書いて合格した児童に「せんだん賞」を授与することに変更。(感想は児童の読解力、書く力に応じる) ・児童名簿に自分が設定した冊数がわかるようにした「読書がんばり表」を図書室に掲示し、シールの位置で貸出数を確認することができるようにした。 ・「読む力」だけでなく「書く力」を養うため、おすすめの本30選を読み、その中から感想を3冊書くことを実行。(各々に応じたレベルで) ・図書館まつりで「先生がすすめる本」を図書室にポップをつけて紹介したり、一覧表にして配布したりした。また、親子読書を全校的に行い、その様子を図書だよりで紹介した。 | | | | | | |

| | |
|------------------------|---|
| <p>取り組んだ感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方のおすすめの本の紹介や読み聞かせは、児童に大変人気があり、読書への関心が高まり、読書の幅が広がった。 ・おすすめの本の感想を書くことが苦手な児童もいるが、助言し一緒に考えることで書き上げることができた。この取り組みを始めて今年度で3年目になるが確実に「書く力」がついてきていることが実感できる。 ・全校で毎朝登校後に読書タイム（8：05～8：15）を実施することが、静かに落ち着いてその後の学習活動にスムーズに入る流れを作っている。 ・自分で目標をたてることで達成する意欲が見られた。 |
| <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地元の読書ボランティア団体による読み聞かせ（年間10回）を実施。 ・各学年の「おすすめの本30選」を設置（毎年読破するよう推奨）。 ・借用する際、必ず1冊は「9」分類の本を借りるようにした。 ・朝の貸出（4,5,6年生）を実施し、継続して本を借りる流れを作った。 ・毎朝10分間の読書タイム（読む本は「9」分類の本、1,2年生は絵本可）を実施。 ・高学年の心理的ハードルを下げるために目標冊数の変更（120冊→100冊）。 ・目標冊数100冊と各学年の「おすすめの本30選」の読破を推奨。（おすすめの本は感想を3冊書き、合格をもらうこと）→「せんだん賞」の授与 ・図書館まつりでは、先生方、図書委員による朝の読み聞かせ（年間2回）、おすすめ本の紹介、先生方のおすすめの本の読破、親子読書などのイベントを実施した。 ・多読賞を授与（各学期各学年3位まで、年間各学年3位まで、年間全校3位まで）することで、貸出冊数の増加を目指した。 ・図書委員のおすすめの本の紹介（毎月）をすることで、読書の幅を広げた。 ・各自の読書目標、貸出冊数の一覧表「読書がんばり表」（図書室）があることで、意欲が高まった。 ・貸出冊数が100冊上の児童の氏名を表記する「読書の木」（校長室前）の掲示することで、達成感を感じるようにした。 <p>今後もこれまでの活動を継続していく予定</p> <p>読書の幅を広げ、読書の楽しさを感じ、進んで本を手取る児童を育成しながら「読解力」と「考える力」、「書く力」を今以上に身につける活動をしたい。</p> |

図書室入口に掲示されている「読書のがんばり表」



- ・目標冊数：ピンク
- ・西部小の目標：黄色
- ・氏名欄の着色：せんだん賞達成

校長室入口に掲示されている「読書の木」



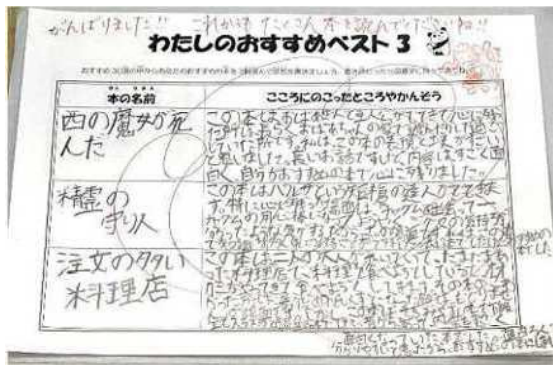
100冊以上借りた児童の名前

「読書の記録」

| ほんのなまえ | | ジャンル | ほんのなまえ | | ジャンル |
|--------|-----------------------|------|-------------|----|--------------------|
| 1 | いちばんせいの がっこうたんけん | 11 | あいうえおおひかめ | 21 | のりものくらべ1 はたらく置 |
| 2 | しっぽのはたらき | 12 | ももたろう | 22 | ちっちゃなかりーほ あていたよ |
| 3 | ドラゴンの城は でっかいぞこわーいぞ | 13 | きんぎょのひまわり | 23 | うらハシ・ウラサ |
| 4 | まじきのおまの ひらからん | 14 | うしろまのほんびくたい | 24 | おまえのまぞうたな |
| 5 | アリからみるこ | 15 | うらしまたろう | 25 | どろんこハリ- |
| 6 | おしろの うんどうがい | 16 | ながつきはいたねに | 26 | ぐりぐり |
| 7 | ひらがなだいぼうけん | 17 | かくやひめ | 27 | てぶくろ |
| 8 | あそびになったので まどをあけますよ | 18 | 3ひきのくま | 28 | びんびんこまが まわったら |
| 9 | おかしなかな | 19 | もげらもげら | 29 | かいじのうたの いるところ |
| 10 | しらすのひめ | 20 | ハンタキ | 30 | つりばしゆらゆら |

| 本の名前 | おすすめ | ここがのこったところやかんどう |
|------|-------|-----------------|
| | ☆☆☆☆☆ | |
| | ☆☆☆☆☆ | |
| | ☆☆☆☆☆ | |
| | ☆☆☆☆☆ | |
| | ☆☆☆☆☆ | |

※星5つ、心5つにそれぞれ書きましょう！10冊書いたら読書家になってね！3冊書いたら賞状をもらおう。



- ・おすすめの本 30 選の中から 3 冊選び感想を書く
- ・司書補、校長から合格をもらう

「せんだん賞」



毎月初めに校長室で表彰

「多読賞」



毎学期、年度末に表彰

「読み聞かせ」

「読書ボランティア」



「図書委員」



「先生方」



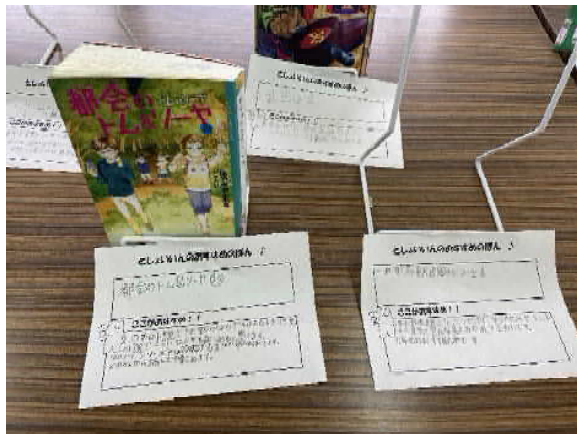
「先生方、図書委員のおすすめの本」









「先生方」



「図書委員」



「親子読書」

| 親子読書カード | | | 親子読書カード | | |
|---|---|--|---|---|---|
| さくら / 〇 名まえ () | | | さくら / 〇 名まえ () | | |
| 7月 30日 | 11月 7日 | 11月 16日 | 10月 25日 | 10月 26日 | 10月 27日 |
|  |  |  |  |  |  |
| 書名 (本の名前) | | | | | |
| 10月 30日 | 先生 病を治すにきました。 | | 10月 25日 | いたしは、いっしょにアリスとアリスの冒険 | |
| 11月 7日 | すがねをがえる大臣 (宮城) | | 10月 26日 | アサゴタイソウ | |
| 11月 16日 | 讀 プラシマのひみつ | | 10月 27日 | おか なまこめがさ | |
| さくら () たくさん本を読んでも、 本を面白く感じました。 これからもたくさん本を 読みたいです。 | | おか () 先生は本を読むのが大好きで、 本が面白く感じました。先生の本 が大好きです。これからも先生の本 をたくさん読んでみたいと思います。 | | | |

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|---------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 有田町立有田中部小学校 児童数 462人 | 担当者名 | 松尾 駿 |
| 住所 | 郵便番号 844-0018 佐賀県西松浦郡有田町本町丙 888 番地 | 電話番号 | 0955-42-3167 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|----------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 読書を通して、心に満開の桜を咲かせよう |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 17日 ~ 令和5年 11月 30日 |

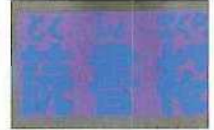
※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|-----------|--|------|-------|------|---------|---------|------|
| 評 価 | 取組人数 | 543 人 | 実施日数 | 126 日 | 読書冊数 | 28444 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
| | 取組内容 (概要) | <ul style="list-style-type: none"> ①読書桜 ②読書ノートを活用 ③「ドリーム」さん（保護者の方を中心としたグループ）による読み聞かせ ④図書祭り（6月・11月） ⑤おすすめ☆ ⑥学級文庫や調べ学習図書の積極的な貸し出し ⑦児童の希望図書アンケート | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>【①読書桜】 4月、図書室に読書桜を設置しました。学年ごとに桜が咲く基準（貸出冊数）を設定し、3月に満開の桜が咲くことをゴールにしました。各学年の貸し出し冊数が桜として表され、桜が咲くにつれ児童の声も聞かれるようになりました。 「読書桜」は図書室を鮮やかにするとともに児童一人一人の心にも読書を通して桜が咲いてほしいという思いで始めました。次の学年に心に咲いた多くの桜をもってほしいと願っています。</p> <p>【②読書ノートの活用】 アジサイ図書祭り（6月）に合わせて、県から配布された読書ノートを配布しました。読書ノートチャレンジとして、全校で取り組み、読書ノートを書き終えた児童には、賞状としおり、+1冊券を渡しました。1年生は、文章で書くことが難しいため、本を読んだらシールを貼るようにしました。</p> <p>【③「ドリーム」さんによる読み聞かせ】 読み聞かせグループ「ドリーム」さんが、月に1回程度クラスごとに読み聞かせを行って下さいました。児童の発達段階に応じた本を選んで、読み聞かせをして下さいました。昔話、民話、季節の本など児童のことを考え様々なジャンルの本の読み聞かせを聞くことができました。児童も毎回どんな本を読んでもくださるのか楽しみに待っていました。</p> | | | | | | |

| | |
|------------------------|---|
| | <p>【④図書祭り（6月・11月）】</p> <p>毎年、年に2回の図書祭りを実施しています。図書委員会の児童が協力して図書祭りの計画、準備、運営を行いました。くじ、本の表紙間違い探し、カード探し、読書ビンゴ、しおり作り、本探し、有田カルタ、わなげ、辞書ひきを行いました。日によってイベントに参加できる学年を分け、学年に応じた取り組みになるよう計画を立てました。図書祭り期間中は多くの児童が図書室を訪れ、たくさんの本を借りていました。読書ビンゴでは、多くの分類の本を読んでもらうようにしました。カルタは、地域のカルタを使用することで住んでいる地域の良さを知るきっかけにもなりました。</p> <p>【⑤おすすめ☆】</p> <p>読んだ本の中からおすすめの本をおすすめ度に応じて☆に色を塗り、図書室内に掲示するようにしました。高学年の児童はおすすめの理由も書いてくれています。おすすめ☆コーナーを見て、本を借りる児童も多く、新しい本との出会いの場にもなりました。</p> <p>【⑥学級文庫や調べ学習図書の積極的な貸し出し】</p> <p>学級文庫用に学年に応じた本を図書室から貸し出しています。朝の時間に読書タイムがあるので、学級文庫の本を読んでいます。先生方に必要な本の冊数とどのような本がよいかのアンケートを取り、貸し出しをしています。年に3回の入れ替えを行い、たくさんの本に触れる機会を作っています。読んだことのない分類の本も読んでほしいため、普段借りないような本も入れるようにしています。</p> <p>各学年の学習内容（平和学習、戦争、環境、加工食品、昔話、季節、都道府県など）に合わせて、学習用図書の貸し出しを積極的に行っています。各学級で、学習用図書とICT機器を活用し調べ学習ができるよう学習の前に先生方には声を掛けてもらっています。また、いつでも国語辞典や漢字辞典の貸し出しを行えるよう準備し、必要に応じて学級に持っていけるようにしています。</p> <p>【⑦児童の希望図書アンケート】</p> <p>児童に希望図書のアンケートを取りました。アンケートを取ったことで新刊は予約制になるほど人気です。「本を読みたい」という思いが溢れています。</p> |
| <p>取り組んだ感想</p> | <p>2回行った図書祭りでは、図書委員会の協力のもと予想以上に利用者数が増え、2～3倍に増加しました。図書祭りを開催することによって、普段は中々図書室を利用しない児童が図書室を利用するきっかけを作ることができてよかったです。読書ノートチャレンジや読書ビンゴは達成して、嬉しそうに図書室に持ってきていました。児童同士でおすすめの本を紹介する場を作ったことで多くの本に出会えた児童が多いことも嬉しいことです。貸出冊数も昨年より約6千冊増えていたので、今後もたくさん本と出会ってほしいです。</p> |
| <p>これまでの取組や今後の取組予定</p> | <p>今年から始めた取り組みが多いが、様々なジャンルの本を読めるよう工夫（上述①～⑦）を行っている。読んだことのないジャンルの本を読む児童が増えてきた。現段階での貸出冊数も昨年より増え、児童が本に触れる機会が多い。今後は、読みたい本を読むことはもちろん、読んだことのない分類、見たことがない分類の本にも出会える企画を考えていく。たくさん本と出会ってほしい。</p> |

読書桜～心に満開の桜を～



4月から読書桜の木を図書室に植え、スタートした「読書桜」。読書を通して、豊かな心を育んでほしい。目に見える形で満開にしたいのはもちろんのこと、なにより子ども達一人ひとりの心に読書桜を満開にしたいという思いで始めました。一人ひとり桜の咲かせ方はさまざまです。一冊の本と長い時間向き合い咲かせる子、出会ったことのない本との出会いから咲かせる子、友達からのおすすめでの出会いから咲かせる子、どの咲かせ方も素敵です。

「読書桜」は図書室の入り口に設置してあります。図書室から出た子は借りた本との素敵な出会いにわくわくし、図書室へ入るときには次の本への期待と読んだ本への感謝を持ってほしいという思いがあり、設置場所を決めました。学年ごとに桜の木を用意し、それぞれの桜を咲かせるようにしました。11月末時点でもきれいな読書桜が咲いていますが、ゴールは3月末の満開の読書桜です。6年生は心に満開の桜を咲かせ、中学校に、1～5年生は心に満開の桜を咲かせ、次の学年へ。本との出会い・読書が人生の1ページに刻まれることを信じて…。

「読書桜」への子ども達の声も聞こえるようになりました。「きれいな桜だね。」「もっと咲かせたい。」「3月にはもっと増えてるよね。」などです。その声は図書室の一部の読書桜について言っているのかもしれませんが、子ども達の心にも同じように読書桜が咲いていると感じます。

4月の読書桜（植えた当初）



桜は学年ごとに貸出冊数を設定し、その数に応じて咲かせています。
今年から始めたこともあり、子ども達も自然と出入口上を意識していました。

読書桜が咲いてきました！



きれいな読書桜（3月の満開の読書桜に期待）



桜が咲いてくるにつれ、子ども達からの声も増えました。先生も学年の桜も見て学年の特徴が把握できました。

読書ノートで継続を!!



「プラス1冊券」をもらえるチャンス!!
子ども達も意欲的に取り組み、たくさんの子どもたちが達成することができました。読書ノートは、年間を通して取り組みます。アジサイ図書祭りの時期に配布し、たくさんのお本を借り、読書ノートに記入していました。

達成した人には…
ミニ賞状
プラス1冊券(3枚)
オリジナルしおり



「ドリーム」さんによる読み聞かせ



月に1回程度朝の時間に、クラスごとに読み聞かせにきてくださいます。昔話、民話、季節に係る本、外国の本などさまざまなジャンルの本を子ども達の発達段階に合わせて選び、読み聞かせを行ってくださいます。子ども達は毎回、「今日はどんな本かな。」と読み聞かせを楽しみにしています。

アジサイ・コスモス図書祭り

コロナウイルス感染予防を行い、図書祭りを開催しました。図書委員会の子どもたちが、人が集まり過ぎないように注意しながら内容を考え、準備をしてくれました。わなげや本探しなど図書委員会が考えた活動を楽しそうにしていました。学年ごとにイベントに参加できる日を決め、お知らせをしていたため、人が集まりすぎることはなく、図書祭りを開催することができました。



【イベント内容】

- ・本探し(11月)
- ・辞書ひき(11月)
- ・間違い探し(6月)
- ・カード探し(6月)
- ・読書ビンゴ(11月)
- ・わなげ(11月)
- ・くじ(6月・11月)
- ・かるた(11月)
- ・しおり(11月)

くじ引き

アジサイ・コスモス図書祭り
毎日行列の「くじ」
借りた冊数分くじを引きます



ビンゴを達成するためには、さまざまなジャンルの本を読まなければなりません。
普段は中々手に取らない本を借りるきっかけになりました。

有田カルタ



地域のカルタです。
「この場所行ったことある！」
「これ知ってる！」という声が聞こえました。



自分の好きな絵を描き、しおりにしています。
何を書こうかな？

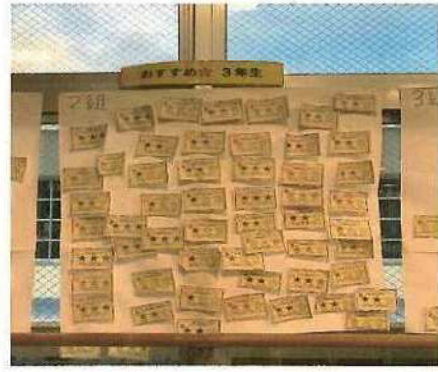
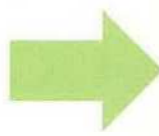
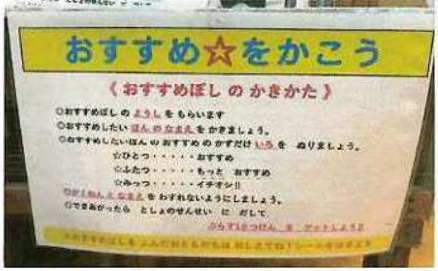


図書祭り期間中は図書室利用者が**普段の2~3倍!**
たくさんのイベントで盛り上がりました。

しおり作り

おすすめ☆

今年度から始めた取り組みです。これまでに読んだ本の中から、全校の友達にぜひ読んでほしい本を選び、おすすめ度に応じて☆の色を塗ります。書き終わったカードは学年・クラスごとに図書室に掲示しました。おすすめ☆を見て、その本を探して借りていく児童もあり、新しい本との出会いの場となりました。高学年コーナーには、おすすめの理由まで書いてくれたカードがたくさん貼られました。



昨年度より、貸出冊数**約6000冊増加!**

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|--------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 白石町立有明南小学校 児童数 97 人 | 担当者名 | 多久島三千代・吉原ゆかり |
| 住所 | 郵便番号 849-1207 杵島郡白石町深浦 5582 | 電話番号 | 0954-65-4169 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|--|
| 宣言 | 目標 | 本の世界をみんなで楽しもう！ ～地域の力と委員会活動で、本の魅力を発信しよう～ |
| | 取組期間 | 令和5年4月12日 ～ 令和5年11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|---|---|------|-------|------|---------|---------|------|
| 評価 | 取組人数 | 97 人 | 実施日数 | 129 日 | 読書冊数 | 13275 冊 | 連携した団体数 | 3 団体 |
| | 取組内容（概要） | <p>(1). 地域の力で、読書の幅を広げる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公立図書館との相互連携 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な本の借用 ・児童作品掲示の依頼 ②お話ボランティア「山びこの会」の読み聞かせ <p>(2). 主体的な委員会活動</p> <p>(3). 本の世界へ導くための取組</p> | | | | | | |
| 工夫したこと | <p>(1). 地域の力で、読書の幅を広げる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公立図書館との相互連携 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な本の借用 <p>1ヶ月に1回ほど、町立図書館から本の借用を行っている。本校は町立図書館までの距離があるため、児童だけでの利用は難しい。そのため、まずは周知からと考え、昨年度から定期的な利用を始めた。少しずつではあるが、認知度が上がってきており、楽しみにしている児童も増えている。読み物だけではなく、調べ学習の教材にも活用し、学級貸出等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童作品掲示の依頼 <p>新たな取組として、学校から町立図書館への掲示を依頼。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生…「ぐりとぐら」のぬりえのイベントへの参加 3年生…本の紹介文の掲示 5年生…本の帯の展示 <p>1年生のぬりえは、町立図書館の取組に参加させてもらった。3年生と5年生は授業で作ったものを活用した。その様子について、学級通信や図書室内での掲示等で保護者や児童への周知も図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ②お話会「山びこの会」の読み聞かせ <p>毎月第3木曜日に、地域の方が読み聞かせに来てくださっている。心温まる読み聞かせの時間を楽しみにしている児童は多い。</p> <p>(2). 主体的な委員会活動</p> <p>今年度の図書委員は、自ら考え行動できる児童が多く在籍しており、大変活発な活動を行うことができている。児童のやる気が全校の読書推進につながるような手だて</p> | | | | | | | |

| | |
|-----------------------------|---|
| | <p>を試みている。</p> <p>① 今年度のテーマに沿ったキャラクターの活用 個人の読書活動の軌跡が可視化されるよう、貸出冊数に応じて、キャラクターが進化していく取組を昨年度から行っている。今年度は委員会でキャラクターを決め、進化のアイテム等を自作したり、考えたりしている。</p> <p>② 図書新聞の発行 今年度、2ヶ月に1回程度、図書新聞を発行している。制作には、クロームブックを活用している。これまで、寄贈書の紹介や、委員会活動の紹介を記事にしてきた。委員全員が関わることができるような記事作りを心掛けている。</p> <p>② 月ごとにイベントを実施 ほぼ毎月、イベントを行っている。4月の「進級お祝いプラス券」に始まり、6月は「としよまつり」、7月は「七夕のイベント」、2学期に入ってから、10月にハロウィンキャンペーンとお化け屋敷、11月に「ミニとしよまつり」などを行った。図書室にくる児童も、次はどんなイベントがあるのか、興味津々で待っている</p> <p>(3). 本の世界へ導くための取組</p> <p>① ICTの活用 クロームブックのフォーム機能を使って、学年ごとに選書の機会を与える取組を年2回行った。初めての試みなので、ICT支援員と相談しつつ実施した。2回目はただ選ぶだけではなく、理由も考えさせる2段階の形式を取った。昨年度より一歩踏み込んだ実践ができてよかった。</p> <p>③ 第4回小学生がえらぶ!“こどもの本総選挙”への参加 数年おきに全国的に行われているイベントに学校全体で参加した。アンケート用紙の記入方法など、普段気にすることのない本の情報などを知るよい機会にもなった。ISBNなど、低学年には難しい記入事項は、司書で代行した。自分が書いた本が選ばれるかもしれないというドキドキ感を感じているようだった。</p> <p>④ 読書の木 4年生が中心となって、読書の木を制作した。本の題名とイラストや紹介文を書いたメモをたくさんつけていき、児童主体の楽しいイベントになった。</p> <p>⑤ 新聞とその他の掲示 図書室入り口には地元紙の切り抜きを、カウンターにはこども新聞をそれぞれ掲示した。社会体育やスポーツ記事に、敏感に反応してくれた。</p> |
| <p>取り組んだ感想</p> | <p>・今年度は、児童の主體的な活動が目玉を引く。児童の発案をどう実現するかを考えることが多かった。そのため、担任・級外からもいろいろな意見を集め、学校全体で活発な読書活動につなげることができた。</p> <p>・図書室に来る児童は、読書や貸出だけが目的ではなく、工作をしたり、イベントの補助をしたりと、目的は様々である。加えて、癒しの空間としての役割を担う場面も増えている。図書室を安らぐ場所と言ってくれる児童が増えたことは、運営を担うものとして、うれしく感じている。</p> |
| <p>これまでの取組や 今後の取組予定</p> | <p>・これまで、公立図書館との連携は、こちらから本を借用することだけだったが、児童の作品を掲示していただくことで、相互連携の形を取ることができた。</p> <p>・今年度、「朝読書の時間にきちんと読書ができる」を定着させることが、図書館教育の大きな柱になっている。できる児童が少しずつ増え、落ち着いた読書活動が朝のスタートとなり、1時間目の授業へとつなげることができている。この流れが続くよう声掛けを継続していきたい。</p> <p>・ICTを活用した取組は、児童の関心が特に高い。昨年度に比べ、より多く活用することができた。6月のとしよまつりで行った本の選書は、1年生のタブレット導入にも役立ったとの評価を得た。今後もどんな実践ができるかを引き続き考えていきたい。</p> <p>・読書の楽しさを伝えるツールはたくさんある。小規模校の利点を生かし、できるだけ多くの児童に寄り添いながら、ICTをからめた幅広い読書活動の支援を行っていきたい。</p> |

(1) 地域の力で、読書の幅を広げる取組

① 公立図書館との相互連携

・ 定期的な本の借用

ジャンルにとらわれず、絵本、なぞなぞ、図鑑、読み物などを借用。小学生向けの雑誌には、写真も多く使用されており、時事問題なども掲載されていることから、高学年の関心が高かった。児童からのリクエストも聞かれるようになり、借りてくるたびに、ほとんどの本が貸し出されている。

・ 児童作品の掲示

<1年生>ぐりとぐらのぬりえ



※福音館書店 ぐりとぐら ぬりえシートより

<3年生>おすすめ本の紹介



<5年生>本の帯の掲示



「うらもみてね」

「ゆうあいとしよかんにあります」

※一言添えて掲示されている

② お話ボランティア「山びこの会」の読み聞かせ



電子黒板を使った読み聞かせの様子



終わった後の感想交流の様子

(2) 図書委員会の主体的な読書活動

① 今年度のテーマに沿ったキャラクターの活用

今年度は、一人一人にスライムを掲示し、貸出冊数の可視化アイテムとした。学年ごと

に決められた目標冊数があり、それに応じて進化していくという設定。

<めあてと貸出目標冊数>

(めあて)最後までしっかり読み終わる

- ・ 1・2年生は 150 冊
- ・ 3・4年生は 100 冊
- ・ 5・6年生は 80 冊

<冊数に応じた進化アイテム>

- ・ 10冊ごとにスライムが変形していくイラストに色を塗る
- ・ 目標冊数達成→星を獲得
- ・ 150冊達成→使い魔を獲得
- ・ 200冊達成→盾を獲得
- ・ 250冊達成→槍を獲得



アイテムの説明

②図書新聞の発行



<記事作りをしている様子>

<図書新聞 10月号>

③月ごとにイベントを実施

- ・ 4月「進級お祝いプラス券」を発行
- ・ 6月 としょまつり

①図書委員会の読み聞かせ



②しおりコンクール…タブレットを使って全校投票



③本の選書…あらかじめ各学年5冊の選書リストを作り、タブレットを使って投票。各学年1冊を購入



④図書委員が全校一人一人に本を選び、封筒にあて名書きをして、貸出をする



⑤お楽しみは読書の後に…本を借りるとゲームに参加できる。



⑥毎日2冊貸出

- ・7月 七夕のイベント…笹飾りを作り、お願いごとを書いて飾る。
委員以外も積極的に参加してくれた。
- ・9月 お月見プラス券の発行…手作りのプラス券を作り、
9月いっぱい配布。



プラス券は全部で16種類

- ・10月 ハロウィンキャンペーン…①ハロウィンプラス券の発行
②お化け屋敷…上学年・下学年の2回に分けて実施。
参加すると、プラス券がもらえる。



・11月 ミニとしよまつり

①本の選書…2回目の本の選書

②全校みんなで宝箱を開けよう！…期間中、全校で500冊本を借りると、宝箱を開けることができる。図書委員会で、タブレットで開ける場面を撮影し、全校児童には電子黒板で見てもらう。中には、館内貸出券とプラス券のセットが入っていて、動画視聴後、担任から渡してもらった。



③毎日2冊貸出

(3) 本の世界へ導くための取組

①ICTの活用

- ・クロームブックを使った図書新聞の発行と動画制作
- ・6月のとしよまつりでは、選書としおりコンクールの投票
- ・11月のミニとしよまつりでは、選書

②第4回小学生がえらぶ!“こどもの本総選挙”への参加



※こどもの本総選挙ポスターより

③読書の木 4年生が主となり、図書の木を制作
そこに、おすすめ本やイラストなどを書いた
メモを貼っていった。



④新聞の掲示

- ・社会体育やスポーツの記事
- ・白石町や佐賀県の記事
- ・イベントの記事

などを紹介した



メモは全部で6種類

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|--------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 佐賀県嬉野市嬉野中学校 児童数 316 人 | 担当者名 | 橋爪 ゆかり |
| 住所 | 郵便番号 843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲 2786 | 電話番号 | 0954-43-0244 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためだけに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|--------------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 様々なジャンルの本を読み、読書の世界を広げよう |
| | 取組期間 | 令和5年 6 月 23 日 ~ 令和5年 11 月 30 日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|--------|-----------------|---|------|------|------|---------|---------|------|
| 評 価 | 取組人数 | 316 人 | 実施日数 | 84 日 | 読書冊数 | 8,472 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
| | 取組内容 (概要) | <ul style="list-style-type: none"> ○図書館まつり 読書ビンゴ・プラバン作り・マグネット作り・ナンプレ・本のイントロクイズ ○しおりのプレゼント 7月・10月・11月に本を借りた人に1人1枚しおりをプレゼントする。 ○読書感想文の選書 国語の授業でクラスごとに読書感想文の本を選んでもらう。 ○クラス対抗読書の木 本を1冊借りるごとに自分のクラスの読書の木に本のシールを1枚貼り、競う。 ○先生あてクイズ 先生の小さい頃の写真とおすすめの本の紹介文を見て、どの先生か当てる。 | | | | | | |
| | 工夫したこと | 嬉野中学校では、年間貸出冊数の目標設定(1人50冊)、図書館イベントの開催、図書委員会の活動、朝読書、市立図書館への職場体験、読み語りボランティアの活用等により、読書を習慣化し、読書の楽しさを広げる活動に取り組んでいる。また、その中でおすすめの本の紹介や図書館まつりのBINGOなどで様々なジャンルの本に触れる機会も増やしている。さらに毎月クラスずつ、本のリクエストを取っている事が、図書室に通うきっかけ作りとなっている。 | | | | | | |
| | 取り組んだ感想 | イベントに興味を持ってもらう事で、貸出冊数が0冊だった生徒が借りに来る事につながった。 また、様々なジャンルの本を借りることにより、好きな本だけを読むのではなく、新たに読んで見て、「この本、面白かったです!」の意見も聞くことができた。 | | | | | | |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | 図書館まつりでは、図書委員に前年度の取組の中で今年もやりたい取組を投票で決めている。又、新しい取組も毎年、一つ加えている。 コロナ禍により、各学年ごとの貸出になったが、年々貸出数は増えているので、今後も継続したい。(同学年だけの方が図書室に足を運びやすいのかもしれない) | | | | | | |

| | |
|---|--|
| <p>読書 BINGO・ナンプレ</p> | <p>ナンプレに挑戦</p> |
| <p>9マスに本の種類（ジャンル）が書いてあり、 1列本を読んだら抽選会に参加出来ます</p> | <p>タテ列の9マスとヨコ列の9マスに1～9の 数字を1つずつ入れ完成させます</p> |
|  |  |
| <p>イントロクイズ</p> | |
| <p>本の冒頭を読み、タイトルが分かった人は手を上げ指名されたら答えます</p> | |
|  |  |
| <p>プラバンしおり大会</p> | <p>マグネット作り</p> |
| <p>自分の好きな本や絵をプラバンに写し、 色を塗り、オープンで焼きしおりを作る</p> | <p>好きな本のイラストを型紙と同じサイズに切り 缶バッチにはめ、裏に磁石を貼ります</p> |
|  |  |

| | | |
|---|--|---|
| スターブックスしおり (7月) | ハロウィンドーナツしおり (10月) | 犬の日のしおり (11月) |
| 7月・10月・11月に本を借りた人に1人1枚プレゼントします | | |
|  |  |  |

| |
|--|
| クラス対抗読書の木 |
| 読書週間の期間中、本を1冊借りたら自分のクラスの木に1枚本のシールを貼ります |
|   |

| |
|--|
| 先生あてクイズ |
| 各学年の3名の先生方の小さい頃の写真とおすすめの本の文字を見て先生の名前を記入します |
|   |

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|--------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 多久市立東原庫舎東部校 児童数 295 人 | 担当者名 | 若林智美・荒木智子 |
| 住所 | 郵便番号 846-2212 多久市東多久町大字別府 3182 番地 | 電話番号 | 0952-76-2002 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|-----------------------|
| 宣言 | 目標 | 本活！ ～推しの本を見つけよう～ |
| | 取組期間 | 令和5年4月7日 ～ 令和5年11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| | 取組人数 | 295 人 | 実施日数 | 238 日 | 読書冊数 | 25436 冊 | 連携した団体数 | 6 団体 |
|----|----------|--|------|-------|------|---------|---------|------|
| 評価 | 取組内容（概要） | <p>① グリーン図書館所蔵の本をたくさん知ってもらうための取組</p> <p>1. イベントの開催（2回）</p> <p>6月 学習委員会主催の図書館まつり（6/26～6/30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分類ビンゴ・・・対象の分類の本をかりる。ビンゴになったらくじ引き。 (しおり・雑誌の付録・プラス1冊券など) ○学習委員による読み聞かせ・・・低学年に向けての絵本の読み聞かせ。 ○本探しゲーム・・・隠された本を探せ！見つけた人にはプラス1冊券をプレゼント。 <p>10～11月 秋の読書週間イベント（10/27～11/9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎日プラス1冊貸出 ○『推しの本棚』を作ろう・・・おすすめの本を『推しの本棚』に並べる。 推しの本の紹介をした冊子も作成。 ○ブックビンゴに挑戦・・・お題が書かれている25マス(5×5)のカードを準備。1列揃ったらハロウィンしおりをプレゼント。 <p>2. おびよみZOO・・・納品される際に本についている帯を活用して、新しく購入した本を紹介。動物園の動物たちが本を読んでいるように見えるよう、工夫して掲示。</p> <p>3. 推しの本コーナー・・・各分類のイチオシ図書を紹介。普段なかなか読まない0～8類の本を2週間おきに分類別に展示。</p> <p>4. POPコンテスト応募・・・ポプラ社主催のポップコンテストに応募。 POPの描き方の紹介も掲示。</p> <p>②連携団体に協力してもらい、行った取組</p> <p>1. 多久市役所商工観光課との連携 県内のイベントや市町のチラシや刊行物をいただき、掲示。郷土学習にも利用。</p> <p>2. 多久市立図書館との連携</p> | | | | | | |

| | | |
|--|-----------------|--|
| | | <p>資料充実のため、団体貸出を利用。</p> <p>秋の読書週間には、推しの本を書いた読書郵便を送る。</p> <p>3. 読み聞かせ（月1回）</p> <p>読み語りボランティアグループ「サザエさんクラブ」による、1～6年生への朝の読み語り活動。</p> <p>4. 放課後児童クラブ「なかよしクラブ」との連携</p> <p>夏休み開館日の図書館利用。</p> <p>廃棄した図書を、リサイクル本としてお譲りし、活用してもらった。</p> <p>5. 多久ロータリークラブからの図書の寄贈。</p> <p>本校が行っている「生と死の授業」で活用できるよう、命に関する本を、毎年寄贈していただいている。</p> <p>6. 読書ノートの活用・・・県まなび課よりいただく読書ノートを活用。</p> <p>③グリーン図書館で継続している取り組み</p> <p>1. 図書館オリエンテーション・・・4月に全クラスに実施。</p> <p>2. 夏休みの図書館開館・・・開館日のスタンプカードを配布。</p> <p style="padding-left: 40px;">来館者にはサマーギフト(しおり等)を贈った。</p> <p>3. 読書の星・・・本の貸出冊数が前期課程 100 冊・後期課程 50 冊達成すると、個人カードに星がもらえる。</p> <p>4. 環境整備・・・別置コーナーの設置や、図書館内・図書館前掲示板に季節ごとの掲示や装飾を毎月学習委員会と一緒にいった。</p> |
| | 工夫したこと | <p>本校は、多久市内で貸出冊数が多い学校である。しかし、手に取る本に偏りがあることから、本棚にはいろんなジャンルの本があることを知ってもらうために取組を行った。</p> <p>①図書館まつりでは、幅広いジャンルの本をかりてもらうための「分類ビンゴ」、棚を知ってもらうための「本探しゲーム」、おススメの本「推しの本」の紹介を行った。</p> <p>新しく購入した本を帯で紹介する「おびよみ ZOO」は、今までにない本の紹介のやり方で館内外も明るい雰囲気になり、新刊コーナーへの導きもでき好評だった。</p> <p>②今年度は準備室に別置していた資料の見直しと廃棄を行い、再利用として放課後児童クラブや公民館にリサイクル本として活用してもらうことが実現した。</p> <p>また、いろんな機関を活用させていただき、連携し、つながりを作ることもできた。</p> |
| | 取り組んだ感想 | <p>本の貸出だけでなく、読書や調べ学習などでももっと図書館を利用して欲しい！いろんな本があることを知って欲しい！お気に入りの本と出逢って欲しい！という思いから目標を立てた。「推しの本」の紹介や POP を作成することにより、本への関心が高まった。この期間を通して来館者が増え、0～8 分類の本の稼働率が上がったので、取組を行った成果が出た。なにより、児童生徒が館内で笑顔で本を選んだり読んだりしている姿が増えたので良かった。</p> |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | <p>義務教育学校なので、幅広いジャンルの図書を所蔵している。毎年、年間目標冊数達成に向けて読書を行っている。図書館活動の取り組み内容がマンネリ化しないよう選別を行い、イベントなども工夫し、もっとたくさんの本を活用してもらいたい。</p> <p>学習委員会の活動も更に工夫しながら、義務教育学校ならではの取組を考え、学校全体で読書の質の向上や図書館利用の促進を図っていきたい。</p> |

【 取り組み内容 】

①-1 図書館まつり

学習委員会主催の図書館まつり



「分類ビンゴ」の様子。
ビンゴになったらくじ引きができます。
景品も委員会で準備しました。



「本探しゲーム」START！
学習委員が説明中。



学習委員による、低学年への絵本の
読み聞かせ。
みんな静かに聞いてくれました。

秋の読書週間イベント



「BOOK BINGO」に挑戦！
「犬」「パン」などの本を探して、
ビンゴになるよう借ります。



そろった人にはハロウィンのしおりを
プレゼントしました。



推しの本棚の設置。
1～9年生が、おすすめの本「推しの本」
を紹介してくれました。

①-2 おびよみZOO



新しく入った本を、帯で紹介。館内外に掲示。
気になる本があったら、新刊本コーナーへGO!

①-3 推しの本コーナー



学校司書がおすすめる「推しの本」コーナー。
0～8分類の本を分類別に紹介しました。
ここから借りられることが多く、好評でした。

①-4 POP作成



ポプラ社主催のPOPコンテストに応募。
描き方を掲示して紹介しました。
結果が楽しみです♪

②-1 多久市商工観光課との連携



多久市や佐賀県内の市町の行事やイベントのパンフレットや刊行物を商工観光課よりいただき、掲示。
郷土学習にも活用します。

②-2 多久市立図書館との連携



児童生徒の「推しの本」を書いたものを、読書郵便という形で、多久市立図書館に送りました。
館長はじめ、司書のみなさんにも大変喜んでいただきました。
市立図書館の資料も団体貸出して活用させてもらっています。

②-3 サザエさんクラブによる
読み聞かせ



読み語りボランティアグループ「サザエさんクラブ」のみなさんが、月に1回朝の時間に読み聞かせをしてくださっています。

②-5 多久ロータリークラブ様から図書の寄贈



多久ロータリークラブより、毎年、命に関する本を寄贈していただいています。学習委員会でお礼のお手紙を書きました。



②-6 読書ノートを活用



本の感想をたくさん書いています！

③-2 夏休みの開館



開館日スタンプカードを配布し、来館者には、サマーギフト（しおり等）を贈りました。冬休みも配布予定。

③-3 読書の星



前期課程100冊
後期課程50冊
達成すると、個人カードに星☆がもらえます。

③-4 環境整備



毎月、学習委員会と季節感のある掲示物やコーナーを作っています。図書館に入りやすい雰囲気になるよう心がけています。

取り組み期間を通して、物語（9類）の本だけでなく、学校図書館にはこんなにいろんなジャンルの本がたくさんあるんだよ！というアピールができたと思います。取組がマンネリ化しないよう心がけながら、3月までに児童生徒が心に残る一冊に出会えるようにしたいです。

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|----------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 鳥栖市立若葉小学校 児童数 368人 | 担当者名 | 廣瀬 晶子 |
| 住所 | 郵便番号 841-0083 佐賀県鳥栖市古賀町480番地2 | 電話番号 | 0942-82-8722 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|--|
| 宣言 | 目標 | 何が出るかな♪何が出るかな♪ 「本の福ぶくろ」でいろいろな本に親しもう |
| | 取組期間 | 令和5年8月25日 ~ 令和5年10月31日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|----|-----------------|---|------|-----|------|-------|---------|-----|
| 評価 | 取組人数 | 368人 | 実施日数 | 44日 | 読書冊数 | 7871冊 | 連携した団体数 | 0団体 |
| | 取組内容(概要) | 今年度初めて「本の福ぶくろ」コーナーにチャレンジしました。本の福ぶくろとは、本をふくろの中に入れて、中身が分からないようにして、ふくろの表に「対象学年」「おすすめポイント」「イラスト」を載せたものです。「どんな本が入っているかは開けるまでのお楽しみ」と児童がドキドキわくわくしてくれる展示を目指しました。 | | | | | | |
| | 工夫したこと | 司書補が是非児童に読んでほしい読み物として、普段なかなか手にしない実験や工作の本なども入れて、いろいろなジャンルの本を使用するよう心がけました。また、司書補だけが作成するのではなく、図書委員の児童が福ぶくろを作ることで、児童目線で選んだ本も使用しました。ふくろの表に児童が書いたおすすめポイント・イラストを載せることで、より親しみやすく、皆に手にとってもらえるよう工夫しました。 | | | | | | |
| | 取り組んだ感想 | 「どんな本が入っているのだろうか？」と児童が楽しみながら、本の福ぶくろを選んでくれていました。図書委員も自分が作った本の福ぶくろが借りられていると、とても喜んでいました。また、なかなか本が選べずに何を借りたらいいか迷っている児童にとっては、本の福ぶくろコーナーを活用してくれている様子が見られました。 | | | | | | |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | 今後も本の福ぶくろの内容を新しくして、年に1度1~2ヶ月程、展示コーナーを設ける予定です。年間目標「100冊」を達成した児童の名前を書いた花を貼って、満開の花を目指す「読書の木」という取組を行っています。各学年に是非読んでほしい「おすすめの30冊」の冊子を配布し、読んだ本にスタンプを押しています。 | | | | | | |

※本報告書は簡潔に記述し、**A4サイズ2頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**(写真、イラスト、取組前後の比較データ等)を**A4サイズ3頁以内**にまとめて、添付してください。

報告書・資料の様式はPDFを基本とし、他形式も可(復号化必要)としますが、一度にメール添付できる容量は**5MB**までですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

III.応募する【提出期限：令和5年12月13日(水)】

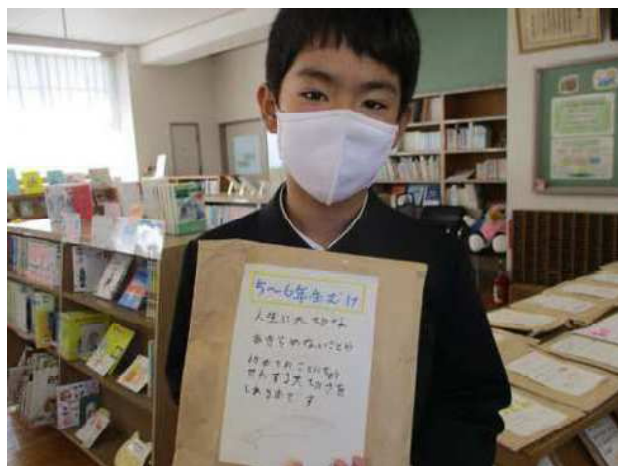
実践報告書は、データ(PDF版)で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

実際の活動の様子(若葉小)

【『本の福ぶくろ』の取組】



休み時間に「本の福ぶくろ」の中から本を選んでいる様子



図書委員会で表紙を作成した様子



「本の福ぶくろ」の展示の様子

《昨年度との貸し出し冊数の比較》

| | 2022年度 (8月25日～10月31日) | 2023年度 (8月25日～10月31日) |
|--------|--------------------------|--------------------------|
| 貸し出し冊数 | 6371冊 | 7871冊 |

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|-------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 神崎市立仁比山小学校 児童数 215 人 | 担当者名 | 中島 里佳・菱岡 智美 |
| 住 所 | 郵便番号 842-0107 佐賀県神崎市神崎町鶴 1634 番地 | 電話番号 | 0952-52-2504 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|-------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | ぼっかぼか図書館 本は友だち たくさん読もう |
| | 取組期間 | 令和5年 4月7日 ~ 令和5年 11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| | 取組人数 | 226 人 | 実施日数 | 244 日 | 読書冊数 | 45166 冊 | 連携した団体数 | 1 団体 |
|--------|----------|---|------|-------|------|---------|---------|------|
| 評 価 | 取組内容（概要） | <p>本校図書館は、図書館担当教員、司書補、図書委員 10 名で運営を行っている。貸し出し目標冊数は、児童 1 人あたり 160 冊である。4 月からの取組については、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月の児童集会では、図書委員が選んだおすすめの本の紹介を行った。また、図書館での過ごし方や校長先生の好きだった本、日本十進分類などを〇×クイズ形式で出し、「図書館に親しんでもらうため」のイベントもした。 ・6 月と 10 月の 2 回図書館祭りをを行い、様々なイベントを開催した。名称を「ぼっかぼか図書館まつり」と変え、児童に定着してきた。また、図書館まつりの期間に合わせて 6 月に「ファミリー読書」、10 月に「読書がんばり週間」を設定し、家庭での読書を奨励した。 ・地域の読み語りボランティア団体「すぎの子文庫」と連携し、本校図書館には「すぎの子文庫コーナー」を設置したり、読み聞かせをしていただいたりした。4 月に全校児童に向けたオリエンテーション、7 月に 1 年生向けのお話を「すぎの子文庫」主催で行っていただいた。また、毎週月曜の朝の時間、各学年（主に 1～4 年生）の教室に絵本の読み聞かせに来てもらっている。 ・学年に応じて、読んでほしい本「おすすめの本 50 選」を設定している。今年度からは 1・2 年は 50 冊、3・4 年は 40 冊、5・6 年は 30 冊と目標数を決めて取り組んだ。 | | | | | | |
| | 工夫したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、2 冊の貸し出しとしているが、多くの図書に親しませるため、週末や授業中の貸し出し、雨の日などは、3 冊貸し出しとした。 ・一定の貸し出し冊数に達したときには、「予約券」や「3 冊貸し出し券」等をプレゼントし、児童が達成感を持てるようにした。分かりやすいように、個人の「読書の記録」には 10 冊～50 冊単位でスタンプがもらえ、子供たちも喜んでスタンプラリーをしている。 | | | | | | |

| | | |
|--|-----------------|--|
| | | <p>・図書館祭りでは、図書委員を中心に「絵本の読み聞かせ」「スリーヒントクイズ」「図書館クイズ」「季節の工作」「しおりコンテスト」等いろいろな事に取り組んだ。(内容も図書委員で積極的に考えていた。)</p> <p>・毎月発行する「図書館便り」で新刊図書を紹介し、さらに、図書館に新刊コーナーを設け、児童に「読んでみたい」という意欲がわくようにした。(こちらも“ぼっかぼか図書館だより”としている。)</p> <p>その他に「ひみつシリーズ」や「平和人権の本」、「読書感想文課題図書コーナー」などに分けることで、低学年でも早い段階から返却がスムーズに出来るよう配架の工夫もしている。</p> <p>・また、各教室の環境としては、個人の机の横に図書バッグを掲げ、ちょっとした隙間の時間にも読書ができるようにしている。本を借りに行くときも大変スムーズである。</p> <p>・年度末には、年間貸し出し目標数 160 冊とおすすめの本の学年冊数クリアをしたら「仁比山小読書マイスター」の賞状がもらえる。</p> |
| | 取り組んだ感想 | <p>・児童が毎日図書館に足を運び、楽しみながら読書をしている姿が多く見られ、取り組んでよかったと思った。本が好きな児童が多く、学校生活と図書が密接しているといっても過言ではないと思う。また、「ファミリー読書」を行った際には、保護者の方から「久しぶりに一緒に読んで楽しかった」等のコメントをもらい、読書が家庭に広がっていく喜びを感じた。時々児童からも「これを読みたいと言われた。」などの会話も聞かれ、読書が保護者にも浸透出来たらよいと願っている。</p> |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | <p>・「朝読書」の習慣が定着し、ほとんどの児童は、毎朝登校後は朝読書を行っている。しかし、教師に促されないと読書を始められない児童もあり、声かけの工夫等をしていきたいと思う。</p> <p>・毎年、年度末に図書委員が取り組んでいる「図書館新聞」作成を今年度も行う。内容は、「歴史の本で人気の本」「図書館の約束」等を予定している。最後に本校は神埼市の中でも貸し出し数が多く、「読書の習慣」が日頃よりしっかりと身につけているからだと思う。この良い習慣を継続できるよう、今後も楽しい図書館にしていきたいと思う。</p> |

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**(写真、イラスト、取組前後の比較データ等)を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

報告書・資料の様式は PDF を基本とし、他形式も可(復号化必要)としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

Ⅲ.応募する【提出期限：令和5年12月13日(水)】

実践報告書は、データ(PDF版)で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

【図書館祭り】



図書委員による大型絵本の読み語り
(6月)
図書委員は大型絵本をめくるのに悪戦苦闘。みんなで協力しながら読むことができました。10月は、自分たちのおすすめの絵本を選び2人ペアを組んで読み語りをしました。



パンプキンの形のお菓子入れをハロウィンに合わせて作りました。昨年はハロウィンのタペストリーだったので、今年は実用的なものにしましたが、大変好評でした。図書委員さんが低学年に教えてくれる姿が微笑ましかったです。

【すぎの子文庫コーナー】



児童が借りたい時には、ファイルに借りた日、返した日を記入すれば、いつでも貸し出しができるようになっています。



「文庫」を図書館の中に置くことで、読み語り団体との連携を図っています。児童も図書館の本との区別をし、丁寧に扱うことができます。

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|--|------|--------------|
| 学校名 | 北茂安中学校 児童数 252 人 | 担当者名 | 司書 上村 佐和子 |
| 住所 | 郵便番号 849-0113 佐賀県三養基郡みやき町大字東尾 4435 番地 | 電話番号 | 0942-89-2008 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|---------------------------|
| 宣言 | 目標 | 図書館へ行こう 不読者0を目指して |
| | 取組期間 | 令和5年 5月 1日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|----|-----------------|---|------|------|------|--------|---------|------|
| 評価 | 取組人数 | 277 人 | 実施日数 | 79 日 | 読書冊数 | 4290 冊 | 連携した団体数 | 2 団体 |
| | 取組内容 (概要) | 町立図書館の巡回文庫コーナー設置 毎月テーマ展示 廊下に本の帯を使い新刊案内 コラボ給食の実施 (本の展示と POP を作成 給食の時間に放送で呼びかけ) 【学習文化委員会と司書の取り組み】 先生おすすめの本の福袋 学習文化委員会の本の福袋コーナー 百人一首大会の開催 図書館祭り (百科事典クイズ) (謎解きに挑戦) (図書館がちゃがちゃくじ) 読書クラスマッチ (9月19日~11月1日) | | | | | | |
| | 工夫したこと | 本の福袋は、先生のおすすめの本をランダムに選び、その中にプレゼント券をいれて貸出しました。百人一首大会の参加メンバーには、図書館くじがひける券を渡して、参加を呼びかけました。がちゃがちゃくじは、委員長手作りです。 | | | | | | |
| | 取り組んだ感想 | 今年度は、学習文化委員会の活動を、図書館活動に重点置いてくれました。自分達で企画して、製作してイベント盛りだくさんで、足を運んでくれる生徒が増えて貸出し数が伸びたように思います。昼休み、放課後両方開館することも良かったようです。 | | | | | | |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | 北茂安の読み聞かせボランティアグループ読み聞かせ 11月より再開 本の福袋 (新年バージョン)・図書館くじ ・先生のおすすめの本・本の POP はおみくじ・給食とのコラボは今後も継続していく予定です。 | | | | | | |

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料** (写真、イラスト、取組前後の比較データ等) を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

報告書・資料の様式は PDF を基本とし、他形式も可 (復号化必要) としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、

【北茂安中学校の取り組み】



町立図書館とのコラボ



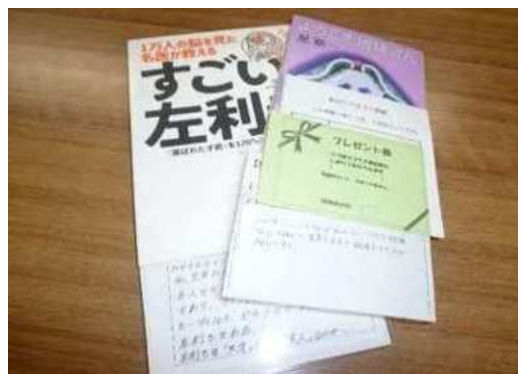
生徒希望により、放課後貸し出しを始めました。コロナの影響もあり、昼休み学年別の貸し出ししていましたが、今年度より、全学年貸し出しに戻しました。閲覧室の昼休み利用も再開しました。みやき町立図書館からの、巡回文庫も好評で、放課後の利用も増えています。

町立図書館と巡回文庫は、定期的に入れ替えてもらっています。コミックは、館内で読むだけですが、他の本は、貸し出ししています。

学習文化委員会の活動

①夏の図書館祭り（本の福袋）

期間 6月～7月中旬



先生のおすすめの本を紹介してもらい、その本をランダムに選んで、わからないように包装してから、本の福袋の中に2～3冊ずつと一緒にプレゼント券も入れて貸し出ししました。どの先生のおすすめの本が、入っているかわからないので、展示すると、すぐに借りて行く人が、多かったです。あわせて、学習文化委員おすすめの本バージョンも作り、貸し出ししました。

② 百人一首大会開催 7月開催

参加者 13組



百人一首大会を、開催する前に
ろうか掲示で、百人一首の紹介
参加は、2人1組で、予選会を
行い、決勝戦は、3組で競って
盛り上がりました。



予選会は 5色百人一首の札で行いました。



決勝戦の様子

③事典クイズに挑戦
(9月より継続中)

ポプラディア第3版を使って、問題用紙2枚作成
2枚目とも正解したら、くじが1回ひけます。



今年度購入したポプラディアを、
活用してもらい、事典に興味を持
ってもらえるようになった。



事典クイズ用くじびき



④秋の図書館祭り (ミステリー本)



秋の福袋は、1冊ずつにして、本の表紙の色で、色占いができるようにしました。当たりのくじ券も入れたので、好評でした。



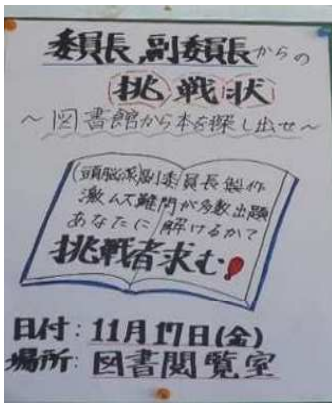
⑤秋の図書館祭り (図書館くじ)



図書館くじは、ガチャガチャで、くじびきをしました。図書館くじは、イベントの参加者に渡したり、本の福袋の中に入れてたりしました。このガチャガチャは、委員長の手作りです。景品は、生徒会予算で、文房具などを購入しました。



⑥秋の図書館祭り (謎解き大会) 参加者 70 名程度



委員長と副委員長 2 人で、問題を考えて、1冊の本を探します。①～④のヒントを、閲覧室の机に置いて、問題を解きます。参加者は、悪戦苦闘しながら、問題を解いていました。



委員会が企画したイベントに、参加してくれる人が、徐々に増え図書館へ足を運んでくれる生徒が増えました。また閲覧室を、昼休みに学習スペースとして利用することも、11月から始めました。今後も魅力的な図書館作りを続けていきたいです。

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|-------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 白石町立福富中学校 児童数 100人 | 担当者名 | 矢次・小森 |
| 住所 | 郵便番号 847-0401 佐賀県杵島郡白石町大字福富 3497 | 電話番号 | 0952-87-3531 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

| | | |
|----|------|--|
| 宣言 | 目標 | ありがとう福富中図書館！ さようなら福富中図書館！ どうぞよろしく白石中図書館！！ |
| | 取組期間 | 令和5年 4月 1日 ~ 令和5年 11月 30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

| | | | | | | | | |
|---------|---|--|------|------|------|-------|---------|-----|
| 評価 | 取組人数 | 100人 | 実施日数 | 112日 | 読書冊数 | 7017冊 | 連携した団体数 | 2団体 |
| | 取組内容（概要） | <ol style="list-style-type: none"> ありがとう福富中図書館！ <ul style="list-style-type: none"> みんなで年間目標を達成しよう。 お気に入りの本を紹介しよう。 さようなら福富中図書館！ <ul style="list-style-type: none"> 廃棄本の譲渡会をおこなう。 「ふ・く・ど・み」の本をみつけよう。 読み聞かせの方々から「福富」の想いをうかがおう。 どうぞよろしく白石中図書館！！ <ul style="list-style-type: none"> 福富中から白石中へ持っていきたい本を選書しよう。 白石中図書館を紹介しよう。 | | | | | | |
| | 工夫したこと | <ul style="list-style-type: none"> 図書館の廊下に「ありがとう福富中図書館！さようなら福富中図書館！」と掲げて最後一年の利用となることを意識してもらった。 年度当初に「年間35冊以上借りよう」を目標に掲げ、ほぼ毎月イベントを開催して来館を促した。生徒や先生にPOPを書いてもらい、本と共に展示し紹介した。 頭文字に「ふ」「く」「ど」「み」のつく本を4冊探してシートに記入してもらい掲示した。たくさんの生徒が参加してくれて、掲示したシートにも立ち止まってみてくれている。 新しい学校への期待感を持ち、少しでも不安を軽減させるために館内に白石中学校図書館の写真や人気の本の紹介を掲示すると、とても喜んでくれた。また本校から白石中へもっていきたい本にはシールを貼ってもらい、お気に入りの本が継続して読めるようにした。 館内の環境美化や装飾につとめ、植物や花を飾り季節感を大事にして、安らげる空間づくりをおこなった。 新聞記事を活用し、関連する本と一緒に置くことで、時事問題とともに関心を持ってもらえるようにした。 | | | | | | |
| 取り組んだ感想 | <ul style="list-style-type: none"> 統合再編により今年度で本校が廃校となるため、図書館でも楽しい思い出を作ってもらいたい、次の白石中でも図書館をたくさん利用してもらいたい、と企画運営に励んできた。結果、喜んで足を運んでもらうことができたので本当に良かった。 イベントを企画し、参加をうながしていたが学年によって偏りがあった。参加してくれた生徒の皆さんにはとても喜んでもらった。先生方へ協力をお願いをしたり、個人的な声掛けをしたりして残り2か月で全員が目標達成できるように取り組みたい。 4月から利用する白石中図書館の様子やきまり、人気の本を紹介することでとても楽しみにしてくれていたのが良かった。 公共図書館や読み聞かせの方々より、本校にはない本を紹介してもらい、多くの本を知ることができた。 昨年度は11月までの貸出が4949冊で一人当たり45.4冊だったが、今年度は生徒のみなさん、先生方のご協力により7017冊で一人当たり70.1冊と向上した。 | | | | | | | |

これまでの取組
や
今後
の取組予定



学習図書委員主催の読書週間のイベント、図書館独自の催しで利用者が増えるよう工夫



手づくりのしおりコーナーは期間中、大人気でした。



「ふ・く・ど・み」の頭文字の本探しにも、たくさん参加してくれました。



お気に入りの本の紹介



POPを読んで、展示コーナーから借りていく人が多かったです。

“白石中へ持っていきたい”“白石中でも読みたい”本に印をつけてもらいました。



どうぞよろしく白石中図書館!!

図書館の様子を紹介すると、とても楽しみなようでした。

月に一度の読み聞かせタイム



静かで温かな時間が流れています。



新聞と本のコラボ



毎月届く、町内公共図書館からの「BOOKBOX」
本校にない本が読めると大人気です。



- ・各種イベントの際、賞品として“特別貸出券”や“しおり”“文房具”等を準備したが、先生方にもお声かけをして譲っていただいた。
- ・貸出を1月末で終了し、2月より本格的に館内も閉校作業に入る。
- ・選書を進め、白石中図書館へ必要な分を搬入した後、残りの蔵書を町内の小学校・公共図書館に活用していただく。
- ・最終、残った本を本校生徒、教職員にむけた「譲渡会」を2月に開催する予定。
- ・町内3中学校の統合再編により福富中学校が今年度で廃校となるため、この運動に最後のチャレンジをさせていただいた。自分自身の意識も向上させることができ、「本や図書館をもっと知ってほしい」「もっと活用してほしい」と、積極的にアピールすることができた。この経験を、次の学校でも活かしていきたい。
- ・生徒のみなさんも福富中と変わらず、それ以上に新しい白石中図書館を利用して本に親しんでほしいと願ってやまない。

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

報告書・資料の様式は **PDF を基本**とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

Ⅲ.応募する【提出期限：令和5年12月13日（水）】

実践報告書は、データ（PDF版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

| | | | |
|-----|---------------------------------------|------|--------------|
| 学校名 | 太良町立大浦中学校 生徒数 72 人 | 担当者名 | 森 葵 |
| 住所 | 郵便番号 849-1613 佐賀県藤津郡太良町大字大浦丙1373番地 | 電話番号 | 0954-68-2029 |

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

| | | |
|--------|------|------------------------|
| 宣 言 | 目 標 | 本を好きになってもらう |
| | 取組期間 | 令和5年4月17日 ~ 令和5年11月30日 |

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

| 評 価 | 取組人数 | 72 人 | 実施日数 | 130 日 | 読書冊数 | 2508 冊 | 連携した団体数 | 1 団体 |
|--------|-----------------|---|------|-------|------|--------|---------|------|
| | 取組内容（概要） | <p>【夏休みにおすすめの本紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みにおすすめしたい本を生徒に書かせ、図書室前の掲示板に掲示。 <p>【図書館祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本集めクイズ/本パズル/図書ビンゴ <p>【昼休み終了前の読書タイム】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs「質の高い教育をみんなに」に貢献するために、月・水・金の5分間読書を行っている。 <p>【読み聞かせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期1回行う。人権擁護委員会さんによる人権作文の読み聞かせや地域のボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。 <p>【みかんの木】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数分のオレンジのシールを貼り、「みかんの木」を作成した。 | | | | | | |
| | 工夫したこと | <p>図書室に来てほしいという呼びかけだけではなく、読書タイムを取り入れることによって、生徒が自分で本を探して読みたいようになるような取り組みを目指した。</p> | | | | | | |
| | 取り組んだ感想 | <p>生徒は図書館祭りの企画に楽しそうに取り組んでいた。本を読むことが苦手だと感じている生徒が図書室に足を運ぶ機会づくりとして、様々な取り組みを行ったことは、非常に効果的だったと思う。また、教職員だけでこのような取り組みを行うのではなく、生徒会の図書委員長を中心に、企画・運営をさせたことで、生徒主体の図書館教育ができたと感じる。</p> | | | | | | |
| | これまでの取組や今後の取組予定 | <ul style="list-style-type: none"> 冬休みにおすすめの本紹介と、一年間で読んだ本の中でおすすめしたい本の紹介を生徒に書かせ、掲示する予定。 | | | | | | |

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

報告書・資料の様式は PDF を基本とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添

大浦中学校 取り組み

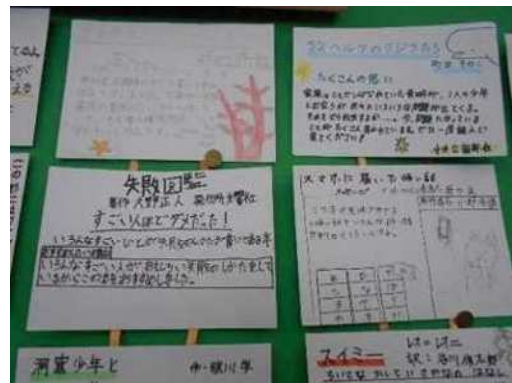
【みかんの木】

→貸出数分のオレンジのシールを貼る。見た目でも冊数が分かる。

(太良町はみかんが有名であるため)



【国語科で作成した POP の掲示】



【おすすめの本コーナー】



【SAGA2024】



【リサイクル本の提供】

